

NAORUN

ナオルン 商品ガイド

ナオルン人工爪：巻き爪・陥入爪の補正セット

巻き爪・陥入爪・深爪・変形爪・はがれ爪etc.

足、手の爪に関する一切のトラブルが

ガラスフィラーとゴムフィラーを使い、

1ヶ所につきナオルン専用ライト

3秒～20秒の照射で補正施術が可能！



原 理

- ・ 巻いて刺さっている爪を切り取り、健康な柔らかい^{こうそうかくぶ}後爪郭部を土台とし伸びてくる爪をガラスフィラーで作り完全に一体化させ誘導し、強制的に平滑な爪を伸ばし補正します。
- ・ ゴムフィラーでより趾爪に近い弾力を持たせ衝撃を分散。自爪に近い構造を再現できます。



PCT国際特許出願（特許申請/ナオルン専用ライト及び主要商品）

目次

ナオルンの特徴 23 1

●第1章 概要 2

・商品（キット各部名称） 2

■ナオルン人工爪を作る手順 3

〔作業の流れ〕

■ 施術前の準備：作業 1 ～ 作業 14

■ 施術：作業 15 ～ 作業 19

●第2章 施術前の準備（作業 1 ～ 作業 14） 4

・用意する物 4

■ 施術前に行う準備（図解と解説） 5

■ 補足説明 8

・取れない人工爪にするには？ 8

・消毒（ナオルンエタノール）について 9

・不用部分の爪の切り方 10

・シールンの使用方法 13

●第3章 施術（作業 15 ～ 作業 19） 17

■ 基本的な人工爪の作り方

（図解と解説） 17

■ 〔施術例〕 趾爪の補正の仕方〔巻き爪、陥入爪〕
～フルトロン+ PP ペストロ+ラバシンの使用～ 19

■ 〔施術例〕 手爪の補正の仕方〔噛爪・深爪等〕
～フルトロン+ PP ペストロの使用～ 23

■ 〔施術例〕 重度の肉芽補正の仕方 25

■ 2 回目からの再診補正の仕方 27

■ ナオルン人工爪を外す時期 29

●第4章 各種症状とナオルン 30

■ ナオルンが使用できない爪 30

■ ナオルンが使用できる爪 30

■ 各種症状 33

・肥厚爪〔厚硬爪／爪甲下角増殖／
爪甲鉤湾症〕 33

・爪甲剥離 34

・剥離爪+陥入爪（巻き爪） 34

・爪上皮（甘皮）に近い爪甲の脱落 34

・剥がれ爪 35

・外傷爪 35

・変形爪 36

・埋没爪 36

・無爪 37

●第5章 商品説明（主要商品） 38

・ナオルン専用ライト 38

・ペンカルン 38

・カルンスティック 39

・フルトロン 39

・PP ペストロ 39

・ラバシン 40

・ソフトラバー 40

・シールン 40

・ナオルンマシーン 41

・ナオルンエタノール 41

・オレンジスティック 41

・ナオルンシザー（シールン用） 42

・ニッパー（不用爪除去用） 42

・アクリルニッパー（人工爪用） 42

・ブラシ（粉払い用） 42

・ヤスリ（粗目・細目） 42

●第6章 看護師用追加資料 44

・間違った爪の切り方 44

・足指型3種による巻き爪・陥入爪になり易い爪 44

・爪の名称 44

・末節骨の構造と働き 45

・肉芽組織形成 46

・爪の施術例 47

・テーピング 53

コストと自費用 54

・平均的なコスト（単価）と自費用の目安
..... 54

オーダーシート 55

ナオルンの特徴23

- 巻き爪、陥入爪、他の殆どの手爪・趾爪の爪トラブルに使用できます。
- 自爪とガラスフィラーが一体化（合体）し、爪を平滑に伸ばします。
- 爪甲だけに完全結合。皮膚等には固まっても結合しません。
- 白癬菌・乾痒等でも内服薬の方は使用できます。
- ニッパーを使い不用部分の爪を切るのも、誰でも使用できて簡単。
- ナオルン専用ライトを当てない限り固まらないので施術し易い。
(UVライトではありません)
- 施術中の痛みがありません。(神経ブロックが必要な場合は別)
- 再発性がどの様な処置より低い。
- 軽度の施術時間は、慣れると10分程で終了。
- 再診の施術時間は3分程で終了。フルトロンを植え足すのみ。
- 軽度の巻き爪・陥入爪は、1回の補正で終了。
- 重度の巻き爪・陥入爪でも平均3～4ヵ月で終了。
(20代は2週間に1回補正にて、5～6回)(年配者は1ヵ月に1回補正にて、3～4回)
- 本物の爪の様な仕上がりが可能。
- 手爪用は透明色に仕上げられます。(別売)
- マニキュアやネイルサロンでアートもでき、自分の爪の様な生活ができます。
- 除光液、アセトン等、どの様な溶剤にも溶けません。
- 新しい包帯としてフルトロンを使用し硬い包帯として、サンダルを履かないでその日から靴が履けます。
- 肉芽形成の処置として固いカバーとしてフルトロンを使用。
- 止血の為にフルトロンを使用できます。
- 接着剤として使用。(爪甲の外傷、亀裂)
- 脱落して無くなった爪甲を簡単に本物の爪の様に再現。
- 糖尿病爪・小さい爪・短い爪を理想の長さや形に作れ壊死を防ぎます。
- PPペストロやラバシンは指先で作るのでとても簡単です。

第1章 概要

商品（キット各部名称）



保管方法

2～27℃の冷暗所で保管。納品後1年程しばらく使用しない場合は冷蔵庫で保管。ユージノールを含有する製品と同一場所に保管しない事。

注意

高温・直射日光に晒さない事。溶剤が手に付いた後は必ず手を洗う事。目に接触した場合は多量の水で洗浄後、医師の診断を受ける事。

禁止

防護メガネを使用する事。ナオルン専用ライトの防護板を使用する事。ナオルン専用ライト以外のライトの使用は危険です。キャップはしっかり締め、アルコール等で消毒する事。アクリレート、メタクリル系、フタル酸にアレルギーがある場合は使用禁止。ペンカルンを直接爪甲に触れない事。先端チューブは基本一人1本、錆びたら破棄する事。手袋は使用したら破棄する事。ナオルン人工爪以外の目的での使用禁止。有効期間を過ぎた製品を使用しない事。

■ ナオルン人工爪を作る手順【作業の流れ】

施術前の準備

極めて重要につき下記の手順に従い確実に行って下さい。

この作業が不十分ですとナオルン人工爪が取れ易くなってしまいます。

作業 1 エタノール

爪甲全体、裏側の消毒 [96%以上エタノール]

作業 2 ドライヤー（冷風）

拭き取り衛生上禁止 [5 秒程乾かす]

作業 3 自爪を短く切る

剥離の部分も切る

作業 4 爪の表面の削り

爪甲全体、後爪郭部、爪の両サイド

作業 5 粉を取る

爪の裏側も丁寧に払う

作業 6 エタノール……………参照 P.9 補足説明 ●消毒（ナオルンエタノール）について

多めに。爪甲の厚みの一番下迄の油分水分を取る

作業 7 ドライヤー（冷風）

爪甲、爪の両サイドが真っ白になるまで乾かす

作業 8 不用部分の爪を切る……………参照 P.10 補足説明 ●不用部分の爪の切り方

痛い場所に印し、不用部分の爪・小骨を残さず切る

作業 9 シールンの用意……………参照 P.13 補足説明 ●シールンの使用方法

残った自爪のラインに合わせてシールンを切り用意しておく

作業 10 ペンカルンを塗る

取れなくする為の一番重要な商品

作業 11 ペンカルンを安定させる

そのまま 10 秒待つ。爪甲に強固な被膜を安定させる為

作業 12 ドライヤー（冷風）

いらぬ成分を飛ばす為 10 秒程

作業 13 爪甲の上のペンカルンにナオルン専用ライトを 3 ～ 15 秒当てる

化学反応が起き、人工爪が取れない様になります

作業 14 シールンの取り付け……………参照 P.14

シールンを作業用の下敷きとしてセット

※慣れると 5 分以内でできますので、看護師が前準備の作業順番を暗記すると、簡単に早く施術が終わります。

施術

作業 15 フルトロン→ナオルン専用ライト（3 ～ 20 秒）

切除した爪の部分にフルトロンで人工爪の土台を作る

作業 16 PP ペストロ→ナオルン専用ライト

PP ペストロで強力に爪甲全体に合体

作業 17 爪の形整え

作業 18 ラバシン→ナオルン専用ライト

ラバシンで趾爪にかかる衝撃力を分散し、自爪の様な柔らかさを再現

作業 19 終了 ※施術終了後、透明マニキュアを塗るとラバシンへのゴミ付着防止になります。

第2章 施術前の準備（作業1～14）

■用意する物

☆冷風付きドライヤー

冷風付きで風量が多いパワーの強い物をお使い下さい。延長コードもあると安心です。



☆ナオルンマシーン用単三乾電池 2本

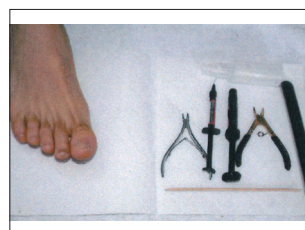
パワーが弱くなったら、すぐに新しい乾電池と入れ替えて下さい。

<施術の時に便利です>

☆足乗せ用タオル

☆タオルに敷くキッチンペーパー

施術中に出的粉をそのまま丸めて捨てられます。



☆ニッパーは入っていますが、重症度の爪甲を切る為には、医師の使用する先端が鋭く薄い強度のある医療用ハサミがあると簡単です。

- 爪甲剥離子 ○爪甲鉗子 ○厚刃
- パワーアップマシーン（別売）
- 爪用ゾンデ ○先端が薄く厚い爪も切れるハサミ



重度切除用医療ハサミ（別売）。
重度の爪を補正する時に便利です。
ぜひお求め下さい。

- ・重度になるとニッパー等では刃先が太く、爪の不用部分が切れません。
- ・重度肉芽形成の処理の時の浸潤している深い部分をしっかりと取る時に使えます。

☆エアースプレー（パソコン用等）があると、削り粉を払う際に便利です。その際は、患部の指をビニール袋に入れ粉が飛び散らない様にして下さい。

■ 施術前に行う準備（図解と解説）

作業1 ～ 作業14

取れないナオルン人工爪を作る為に大変重要です。しっかりと行って下さい。

[参照 取れないナオルン人工爪にするには？ P.8]

■ 作業1 エタノール

- ・ 96%以上無水エタノール（ナオルンエタノール）を患部全体に多めに吹きかける。
- ・ 成分が蒸発して効果が無くなるのを防ぐ為、真空容器のスプレー式を必ず使用して下さい。
- ・ 爪甲の油分・水分をしっかりと取らないと人工爪が取れやすくなります。



■ 作業2 ドライヤー（冷風）

- ・ 冷風のみ使用します。
- ・ エタノール乾燥時に殺菌効果を果たし、施術時間が大幅に短縮されます。



■ 作業3 自爪を短く切る

- ・ 施術をし易い様に自爪は短く切っておいて下さい。
- ・ 爪上皮（甘皮）が多い方は押し上げて下さい。爪甲が伸びるのを助けます。甘皮に人工爪を作ってしまうと爪が伸びませんので注意して下さい。



■ 作業4 爪甲全体の表面削り

- ・ 爪甲表面はナオルンマシンの円柱ビットや粗目ヤスリを使用します。
- ・ 後爪郭部、爪甲の両サイドの窪みは針状ビット使用します。
- ・ 爪甲は何千の層でできていますので、多めに削って下さい。
- ・ 爪甲表面はツルツルして油分・水分があります。表面をしっかりと削り一番下の爪甲までエタノールの成分を浸透させる為に行います。
- ・ 肥厚爪や下角質の厚みがある場合は、できるだけ薄く削ります。



■ 作業5 ブラシで粉払い

- ・ 爪甲の窪みや裏側等の削り粉を確実に払って下さい。粉が残っていると取れやすくなります。



作業6 本番エタノール [参照 消毒（ナオルンエタノール）について P.9]

- ・この時のエタノールの効果がナオルン人工爪の剥がれトラブルを左右します。
- ・多目に爪甲全体、裏側、に吹き掛けて下さい。



作業7 本番ドライヤー（冷風）

- ・爪甲全体、窪み、爪の裏側をしっかりと冷風で乾燥させて下さい。
- ・爪甲全体がどんどん白くなります。爪甲の両サイドもしっかりと白くして下さい。
- ・白くならない場合は、作業4の表面削りからやり直して下さい。



作業8 不用部分の爪を切る [参照 爪の切り方（不用部分の爪） P.10]

[参照 看護師用追加資料 テーピング P.53]

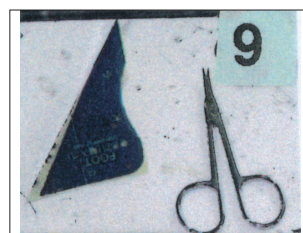
- ・患部の指を軽く持ちます。決して強く握らないで下さい。
- ・オレンジスティックで後爪郭部（甘皮）から一箇所づつ力を入れて押し、どこから痛みがあるかを調べます。
- ・痛い場所が判ったら細い油性マジックで印しをつけます。
- ・ニッパー（看護師使用）か、医療用の先端が鋭く薄い強度のあるハサミ（医師使用）でしっかり切り取ります。
- ・オレンジスティックで側爪郭を押し下げ、小骨が残っていないか確かめます。少しでも小骨が残っているとすぐに再発してしまいます。出血していたらオレンジスティックを使い、切った部分に小骨の引っ掛かりが無いか感触で確かめます。



作業9 シールンの用意 [使用法 DVD 肉芽処理の項 参照]

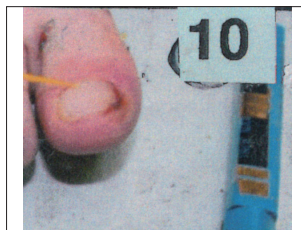
[参照 シールンの使用方法 P.13]

- ・切り取った爪のラインに合う様にシールンをナオルンシザーで切って用意します。
- ・不用部分を切った爪床の状態が普通の形状の場合は、シールンはありません。
- ・状況により、ペンカルの前にシールンの取り付け（作業14）を行なってもかまいません。



作業10 ペンカルンを塗る

- ・ナオルン人工爪を取れなくする為の一番重要な工程です。
- ・カルンスティックに一滴ずつ乗せ爪甲全体と爪の厚みに塗ります。
- ・男性の母趾の場合、1滴ずつ3回（3滴分）が平均量です。少し多めに塗ると安心です。
- ・爪上皮には塗らないで下さい。爪上皮に人工爪を作ってしまうと、爪が伸びなくなります。

**作業11** ペンカルンを安定させる

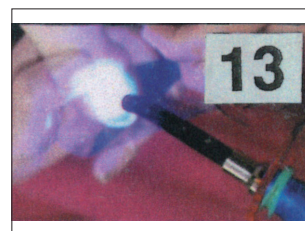
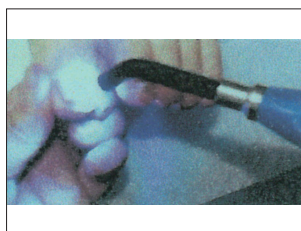
- ・爪甲の上に塗ったペンカルンを安定、固定させる為、10～20秒動かさずそのままにして下さい。
- ・ペンカルンは爪甲の上に強固な被膜を作り、爪甲に浸透しません。

**作業12** ドライヤー（冷風）

- ・ペンカルンに入っている不要な溶剤を爪甲の上から除く為に冷風（10秒～15秒）で蒸発させます。

**作業13** 爪甲にライトを当てる

- ・ペンカルンにナオルン専用ライトの波数を3～15秒当てます。化学反応が起きて取れない土台が爪甲の上に成立します。ライトを当てても熱くなりません。
- ・ペンカルンは乾きませんので触れないで下さい。触れてしまったら作業10からやり直して下さい。

**作業14** シールン取り付け [参照 シールンの使用方法 P.13]

- ・シールンを取り付けて施術に入して下さい。
- ・取り付けの際には爪甲のペンカルンに触れない様に注意して下さい。



以上で「施術前の準備」は終了です。

■ 補足説明

■ 取れない人工爪にするには？

☆答え 施術前の準備をしっかり行って下さい。特に以下8点は重要な点です

- ◆ 爪甲の表面と凸凹爪甲溝をしっかりとナオルンマシンの棒状と円柱のビットで削ります。削りが足りないと爪甲にエタノールが入り込みません。
- ◆ 削り粉をしっかり払う。粉が残っていると取れやすくなります。
- ◆ エタノールは96%以上で密封式容器の無水エタノールを使用して下さい。濃度が低いと爪甲の油分・水分が十分に取れません。また瓶タイプだと成分が蒸発して効果が無くなります。
- ◆ 最後のエタノール（作業6）の後、冷風ドライヤーで爪甲の表面、窪んだ爪溝の隅々まで真っ白になるまでしっかり乾燥させます。爪甲が白くならない場合、爪甲全体の表面削り（作業4）が足りないので、やり直して下さい。
- ◆ ペンカルンを爪甲全面と爪の厚みに充分に塗って下さい。（少し多目に）
- ◆ ペンカルンを塗った後は10秒動かさず爪甲の上で安定、固定させて下さい。（強固な被膜を作る為）
- ◆ ペンカルンを塗った後はドライヤーで不純物を蒸発させて下さい。（冷風10～20秒）
- ◆ 爪甲に塗ったペンカルンにナオルン専用ライトを当てて下さい。化学反応を起こして取れない爪甲の土台を作る原理です。

■ 補足説明

■ 消毒（ナオルンエタノール）について（作業1と作業6 エタノール）

☆ナオルン人工爪には、スプレー式密封容器で成分 96% 以上のナオルンエタノールを使用して下さい。



<なぜこのエタノールでなくてはいけないの？>

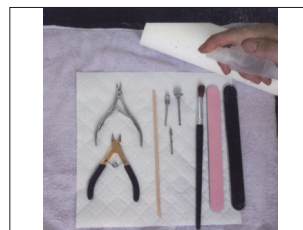
- ◆ナオルンエタノールの一番の目的は、取れない人工爪にする為に爪甲の油分・水分を取る事です。水分の多い消毒用アルコールでは十分な効果が得られません。
- ◆趾爪の爪甲には様々な菌が存在しているので、できるだけ死滅させます。
- ◆成分蒸発を防ぐ為、スプレー式密封容器を使用して下さい。高質な 96% 以上無水エタノールは蓋を開けるとすぐに成分が蒸発してしまい、残りはあまり必要の無い成分・水分・臭いのみになってしまいます。

<部位の消毒>

- ◆自分の手の消毒…ナオルンエタノール。
- ◆患者自爪（爪甲）の消毒…爪甲の油分・水分を取り除く為に必ずナオルンエタノールを使用して下さい。
- ◆患部の消毒……肉芽形成、爪囲炎症、出血している場合は適切な消毒液をお使い下さい。

<器具の消毒>

- ◆清潔なタオルの上にキッチンペーパーを広げ、その上に使う器具を全て置いてナオルンエタノールを吹き掛けます。
- ◆自然乾燥して器具が白くなったら器具を裏返して再びナオルンエタノールを掛け乾燥させます。この表裏の消毒を3回繰り返して下さい。



- ・一日に朝夜2回は必ず行い、患者1人に対して毎回消毒して下さい。
- ・ナオルンマシンのビットはアクリレートオートクレーブ使用可。（オートクレーブ対応のヤスリ別売）
- ◆ニッパーは先端に爪の角質等が付きますのでブラシで取ります。ブラシも消毒して下さい。
 - ・ナオルンマシンのビットに汚れがある場合…歯ブラシ等で汚れを取って消毒して下さい。
 - ・ブラシや歯ブラシも消毒は表裏自然乾燥3回、1日朝夜2回行って下さい。。
 - ・白癬等の菌がある場合、直接触れた器具はしっかりと消毒し、ヤスリは廃棄して下さい。

補足説明

■ 不用部分の爪の切り方（作業8 不用部分の爪を切る）

☆不用部分の爪を切る前に自爪は短く切っておいて下さい。（作業3）

■ 軽度～中度 [巻き爪、陥入爪]

(1)爪甲がぐらつかない様に片手で固定します。

- ・ 爪側郭（両サイドの肉）の盛り上がりがある方は片手の親指や人差し指で押し下げながら施術します。



ニッパー使用（誰でも施術できます）

(2)盛り上がりひどい場合はテーピングをし、刺さった爪の最後の爪刺部ができるだけ見える様にして切り易くします。

(3)オレンジステックで後爪郭部から爪の表面をゆっくりと力強く押し、痛みのある場所にマジックで印しを付けます。

- ・ 患部の指は強く握らないで下さい。（爪囲炎の痛みと間違える場合があります）

(4)爪先から痛みの印しまでニッパーの角度を考え、少しずつ切ってください。



- ・ 爪を伸ばす為の後爪郭部は必ず米粒1個分残します。

(5)爪甲の両サイドの皮膚（側爪郭）を指で広げ、切り残した小骨が無いかオレンジスティックで確かめます。

- ・ 出血した場合、オレンジスティックで切ったラインを感触で確かめ、引っ掛りが無いか確認します。引っ掛りは小骨です。小骨が残っていると再発します。



巻き爪



巻き爪切る部分



印し、ニッパーで切る



不用部分を切った後
後爪郭部の米粒1個分は
切らない事



L 状に切り、後爪郭部を
残し土台とする

■中度の硬い爪

- (1)硬い爪で陥入がきついで、ニッパではなく先端が鋭く薄い強度のある医療用ハサミを使います。
（医師のみ）



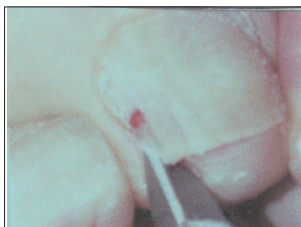
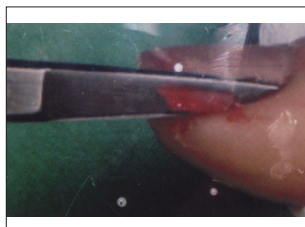
重度切除用医療ハサミ（別売）



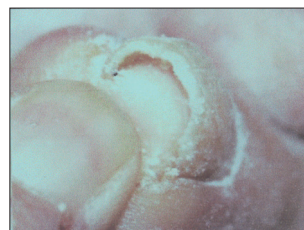
- (2)爪の長さをできるだけ短く切ります。



- (3)しっかりと切ります。



- (4)小骨がないか調べます。



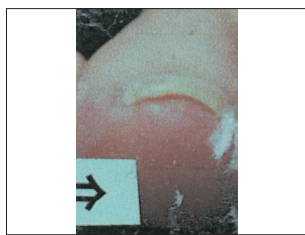
- (5)シールンをセットします。



■重度 [巻き爪、陥入爪]

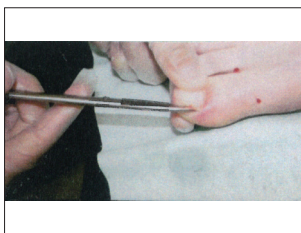


重度巻き爪



施術後

先端が鋭く薄い強度のある医療用ハサミを使用します。（医師のみ）



(1)趾基部にチューブをきつく巻き、神経ブロック注射を行います。

(2)先端が細く強度な医療用ハサミで湾曲している部分、爪床に食い込んだ爪甲側縁を切り取ります。

【重要】

・ どんな重度でも後爪郭部の両サイドの部位は必ず少し（米粒一個分程）残して切ってください。この部分はフルトンと合体させて爪を真っすぐ伸ばす為の土台となります。

(3)シールンを小さく切り、爪に平行にセットします。

・ 看護師様にシールンを持ってもらえると楽です。

(4)ナオルン人工爪を作り始めます。

補足説明

■ シールンの使用方法

（作業9 シールンの用意、作業14 シールンの取り付け）



[A - B] 折る⇒〈青色面〉足用〔巻き爪、陥入爪〕

[C - D] 折る⇒〈透明面〉手用〔噛み爪、深爪〕

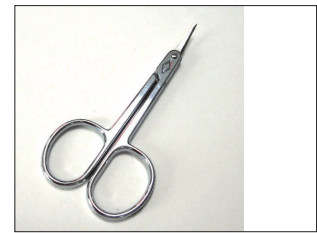
テーピング用（参照 P.53）

※不用部品の爪を切った取った部位に人工爪を作る下敷として使用します。

※不用部分の爪を切った取った形に合わせてシールンを切って用意して下さい。

※シールンの裏紙を剥がすとシール状になっています。裏紙は取付位置の確認後剥がして下さい。

※ナオルンシザーをご使用下さい。丸みがあるカーブ状に切る事ができます。



ナオルンシザー（シールン用）

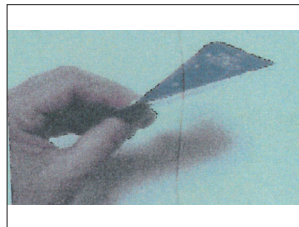
■一枚使い 基本の使用方法

● 趾指の場合

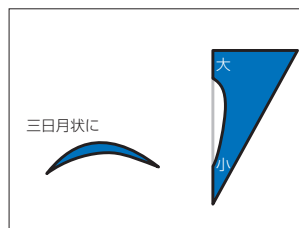
＜施術前の準備（作業9 シールンの用意）＞

- (1)シールンの「A - B」を青い面に沿って力強く折ります。

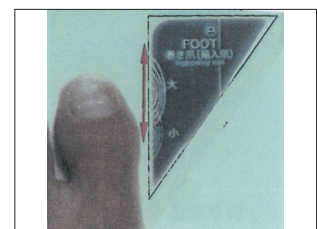
折りが弱いとシールンが施術中に剥がれてしまいます。



- (2)シールンの青い面の「大～小」の端から端まで、丸みのあるナオルンシザーで2～3mm 幅の三日月型に細長く切り落します。



最初は慣れるまで「大～小」までを幅太く4mm ほどに切って不用部分の爪を切った形に合わせて切り調整して下さい。



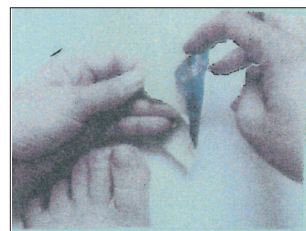
- (3)左手（逆利き手）で趾指を軽く握り、シールンの取り付け位置を確認します。

趾指は最後まで握り動かさない様にして下さい。
切った「大～小」のラインのどこかに自爪の形と合う場所がありますので、その場所にシールンを取り付けます。



< 施術前の準備（作業14 シールンの取り付け） >

- (4)シールンの裏紙を取り、シールンの透明部分を患者の趾指の腹側に貼り付け固定します。



【注意】

- ・ 痛みを避ける為、爪甲と爪床の間にシールンを深く差し込まないで下さい。
- ・ シールンは爪甲の上に乗せず、爪と平行にセットして下さい。特に爪の先端（指先）と両サイドの爪の上に被さらない様に気を付けて下さい。
- ・ 爪甲のペンカルンには触れないで下さい。触れてしまったらペンカルンを塗り直しライトを当てて下さい。

- (5)シールンの青い面「大～小」のラインを合わせたら、シールンの折目の端2箇所「A」と「B」を親指と人差し指で強く押して貼り合わせます。

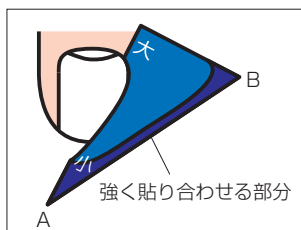


【注意】

- ・ シールンは、自爪と平行か上向きに取り付けます。
- ・ シールンの端の折目だけを押しして下さい。
- ・ 患部回りと爪の先端（指先）の折目は、側爪郭の近くまで押し貼り合わせないで下さい。平行にならず下向きになってしまいます。



- (6)よりしっかりと固定する為、シールンを貼った端の2箇所「A－B」部分の折目を5mm幅ほど強く押しして貼り合わせます。

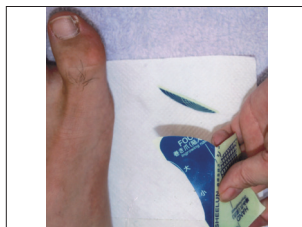
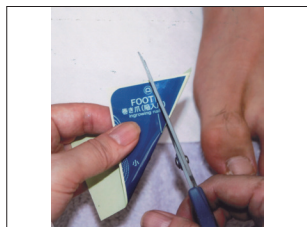
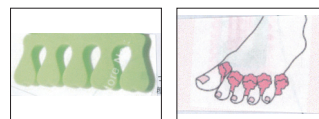


- (7)自爪とシールンが平行になる様にシールンを少し動かして微調整をします。

●内側にシールンを取り付ける場合

- ・ 趾指の内側に取り付ける場合はシールンが大きすぎるので、切って小さくして下さい。
- ・ 趾指の間に丸めたコットンを挟みます。

トゥーガード（別売）
※色は変わる場合があります。



●手爪の場合

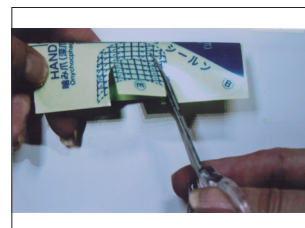
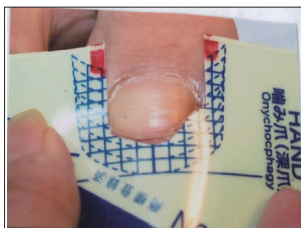
手爪ではほとんどの場合、シールンの使用は必要ありませんが、次の様な時に使用して下さい。

- ・ 指先より人工爪を長く作りたい時
- ・ 深爪で爪甲よりも爪床が盛り上がっている場合に、シールンで爪床を押しながら作りたい時

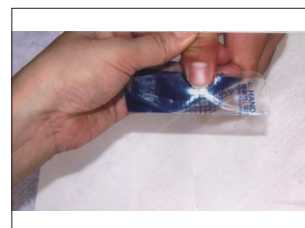
(1)シールンの「C - D」を折ります。

(2)「E」部分を（普通のハサミで）手爪の幅に合わせて切り込みます。

(3)印刷された「E」のラインに沿って手爪の形に合わせて切ります。



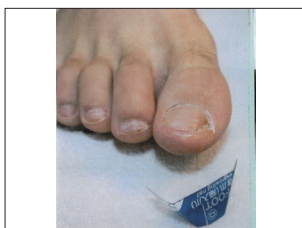
(4)シールンの裏紙を剥がして、指先に合わせて貼り付けます。



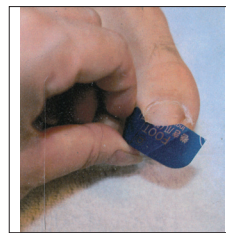
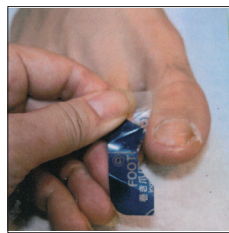
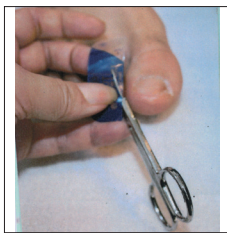
■切って使用する方法

埋もれた爪甲等でシールンが届かない場合はシールンを切って使用します。

- ・ 変形爪
- ・ 平行に取り付けができない爪
- ・ 一枚使いが難しい場合



■看護師に支え持って貰う方法



■シーロンを使用しない方法（参照【施術例】趾爪の補正の仕方 / 重度 P19、【施術例】重度の肉芽補正の仕方 P.25）

- ・ 80 ～ 100 度の重度巻き爪・陥入爪等はシーロンは使用しません。
- ・ 爪甲を切り取った後、爪床が普通の皮膚の場合、皮膚が下敷きとなりますのでシーロンは必要ありません。

第3章 施術（作業15～19）

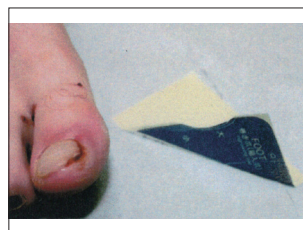
■ 基本的な人工爪の作り方（図解と解説）

作業15 ～ 作業19

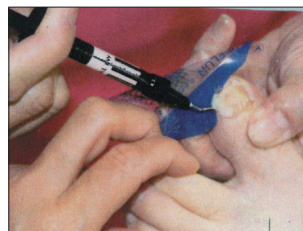
※施術前の準備（作業1～14）をしっかりと行ってから施術に入ってください。



※取り付けしたシーレンが動かない様に、左手（逆利き手）で趾指のシーレンの下を含めて軽く握り、下から支えながら施術を開始します。



作業15 フルトロンで人工爪の土台を薄く作ります。[ガラス製] → ナオルン専用ライトを当てます。



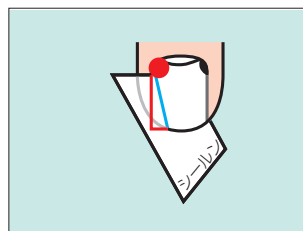
- A. フルトロンで後爪郭部（甘皮のサイド・赤丸○の部分）に米粒1/2サイズのフルトロンの丸いボールを作ります。

【注意】爪上皮（甘皮）にはフルトロンを絶対につけないで下さい。



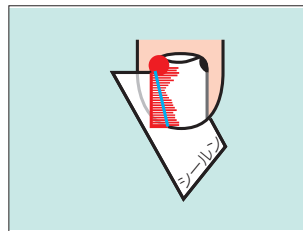
- B. フルトロンで後爪郭部から爪先に向けて作成する人工爪のラインを作ります。

※先端チューブを強く押し付けず、爪甲やシーレンに触るように軽く押しながらフルトロンを押し出します。



- C. フルトロンを左右に動かし薄く自爪と結合させます。

※切りとった不用部分の爪と平行に作ります。



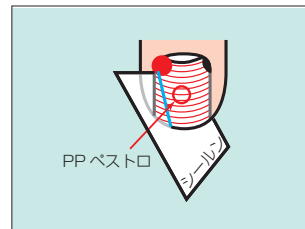
- D. ライトを当て、フルトロンを硬化させます。（3～20秒）

作業16 PPペストロで人工爪を爪甲全体に薄く作ります。[ガラス製] →ナオルン専用ライトを当てます。

A. PPペストロを必要な量を取り指で丸めます。
冬など硬い時は指の温度で少し温めて下さい。

B. 爪の中央に置き爪全体に広げます。

【注意】爪上皮（甘皮）にはPPペストロを絶対につけないで下さい。
甘皮近く（後爪郭部）は、オレンジスティックで押して段差なく薄く作ります。



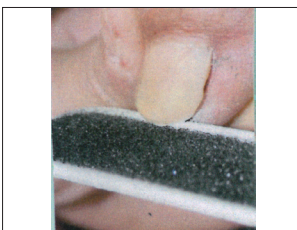
C. 人差し指やオレンジスティックに少しのエタノールを吹きかけ撫でるようにして表面の段差を取ります。

【注意】人差し指やオレンジスティックにエタノールを多くつけ過ぎないで下さい。取れ易く形も作れなくなります。ナオルンエタノールのスプレーのワンプッシュ1/3が適量です。

D. ライトを当て、PPペストロを硬化させます。

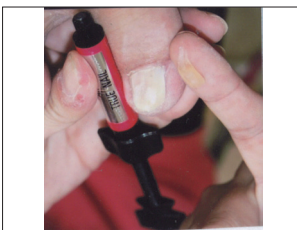
作業17 爪の形を粗目ヤスリやナオルンマシーンで整えます。

（手爪の場合は終了。自分で光沢が出せます）



作業18 ラバシンで人工爪の厚みを調整します。（趾爪の場合）[ゴム製] →ナオルン専用ライトを当てます。

A. 指でラバシンを爪甲全体に塗り厚みを作ります。



B. ライトは少し長く当て、ラバシンを硬化させます。

作業19 ナオルン人工爪の施術は終了です。

透明マニキュアを自宅で塗って戴くとゴム状のラバシン表面に汚れが付きません。



POINT

PPペストロもラバシンも、基本的に全体に薄く作ります。

重度の場合、この部分を厚く作ります。

【注意】巻き爪・陥入爪が1趾の片側だけでも「PPペストロ」・「ラバシン」は爪甲全体に作る事。趾爪では特に力が掛かる為、片側だけに人工爪を作ると衝撃により左右のバランスが崩れて取れてしまいます。

■ [施術例] 趾爪の補正の仕方 [巻き爪、陥入爪] ～フルトロン+ PP ペストロ+ラバシンの使用～

■ 軽度～中度



軽度巻き爪



軽度巻き爪 (施術後)

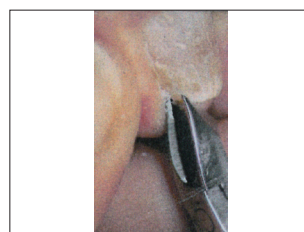


軽度巻き爪 (施術後 2)

(1) 施術前の準備をしっかりと行います。作業1～作業14

A. 不用部分の爪を切除。

- ・事前に自爪はできるだけ短く切ります。
- ・切り終わったらオレンジスティックで確かめ、引っ掛りがあったら小骨を切ってください。
- ・特に陥入爪の刺し爪は小骨を切り残さないで下さい。残っていると再発してしまいます。



B. ペンカルン→ナオルン専用ライト。

- ・爪甲の上で化学反応を起こさせ、取れない人工爪にします。(強固な被膜の作成)



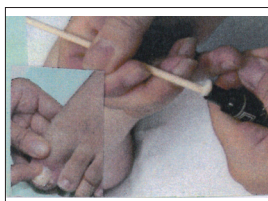
C. シールンの取り付け

- ・切り終わった爪のライン、爪の周り（側爪郭）の盛り上がりの状態により、シールンの取り付け方を変えて下さい。

(2) フルトロンで切り取った部分の爪を作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。作業15



(3) PP ペストロを爪甲全体に段差なく作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。作業16



PP ペストロを指で温め柔らかくし、爪甲全体に広げ段差を取ります

- ・ライトを当てる前に、ナオルンエタノールを指の腹にワンプッシュの1/3程を濡らし、丸を描く様に撫で表面の段階を取ります。



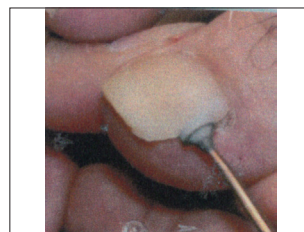
- ・爪甲の周りの指が届かない場所は、オレンジステックの先端をエタノールで濡らし、爪甲にしっかり密着する様に押して段階を無くします。

【注意】爪上皮（甘皮）にはPPペストロを絶対につけないで下さい。

- ・形の直しや多過ぎて厚くなった場合はオレンジスティックで取り、PPペストロを作り直して下さい。ライトを当ててしまったら、少し削りその上からフルトロンやPPペストロを付け加えます。

(4)粗目ヤスリ又はマシーンで爪の形を整える。作業17

- ・形を患者様が気に入らない時は、自宅にてヤスリで形を整えて戴いて下さい。



(5)ラバシンを爪甲全体に付け厚みの調整をします。→ナオルン専用ライトを少し長く当てます。作業18

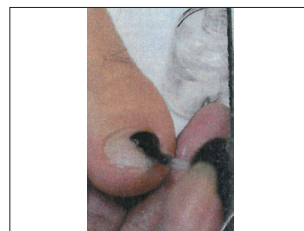
- ・両サイド等厚みの調整は必ずラバシンを使用します。
- ・巻き爪等の巻きが酷い場合、爪甲両サイドを爪甲中央の一番高い場所に合わせて、ラバシンかソフトラバーで厚みを作ります。



(6)終了 作業19

<ワンポイント>

- ・フルトロン、PPペストロは薄く作ります。
- ・趾爪の場合、ラバシンは衝撃を分散・吸収しますので趾爪には重要です。
- ・ラバシンの後のゴム製のベタつき…気になる方は自宅で透明色のマニキュアを塗ると爪にゴミが付かないのでお勧めして下さい。



■ 重度



重度 60～100度の巻き爪（挟み爪）、陥入爪（刺し爪）



重度巻き爪



施術後

(1) 施術前の準備をしっかりと行います。不用部分の爪の切り方に注意して下さい。

作業1～作業13

- A. 自爪は事前に短く切っておきます。
- B. 不用部分の爪をどこ迄切るか、爪床の挟んでいる場所、巻き始めの場所を調べます。
- C. 細いマジックで巻き始め場所・陥入の痛い場所を探し印しをつけます。
・ オレンジスティックで後爪郭部から指先に向かって力を入れて押して調べます。
- D. 爪甲の周りの皮膚を押し下げ、爪甲と側爪郭をできるだけ離します。
・ 人工爪を作り易くする為、必要に応じてテーピングをして下さい。（参照 看護師追加資料 テーピング P.53）
- E. 先端の薄い医療用ハサミで、挟み込んでいる又は刺し込んでいる爪甲溝を切り取ります。
（参照 不用部分の爪の切り方 P.10）
・ 出血したとしても小骨はしっかり切り取って下さい。（エタノール〔消毒〕とドライヤーをもう1回行って下さい。）
- F. ペンカルン→ナオルン専用ライト。



先端が鋭く薄い強度のある医療用ハサミを用意します（医師が切る）

(2) この場合、土台のシールンは使用しません。施術に進んでください。〔作業9・作業14は不要〕

- ・ 爪床に直接人工爪を作ります。

(3) フルトロン→ナオルン専用ライトを当てます。 **作業15**

- ・ 爪両サイドの側爪郭と爪甲をできるだけ広げて、その隙間にフルトロンを流し込み、巻き始め・陥入始めの部位から趾指先まで幅を広げます。

(4) PP ペスト口は、使用しません。〔作業16は不要〕

(5) ソフトラバーをフルترونの上に流し込みます。→ナオルン専用ライトを当てます。

作業☆

- ・フルترونより広くし、肉に当たっても痛みが無い様にします。

(6) ラバシンで爪全体に表面を形良く作り、両サイドは厚めに作ります。→ナオルン専用ライトを長めに当てます。 **作業18**

- ・趾爪の場合は最後にラバシンを必ず使用し、爪甲の表面を均等にします。

(7) 形を整えて終了です。 **作業17**

＜ワンポイント＞

- ・先端の爪甲や趾指が細くなっている為、一度に先端の人工爪と爪甲全体の幅を広げ過ぎないで下さい。
1週間に一度幅を広げた違和感が無くなる頃に、側爪郭を広げ隙間にフルترون、ソフトラバー、ラバシンを植え足し、2～3ヵ月かけて徐々に広げていきます。
- ・自爪が伸びた部位が巻いて（陥入して）いないか確かめ、巻いて（陥入して）いたら切り取りフルترونで補正します。
- ・ソフトラバー、ラバシンはゴム製で汚れがつきます。自宅で透明マニキュアを塗って戴く事をお勧めします。

■【施術例】手爪の補正の仕方【噛爪、深爪等】 ～フルトン+ PP ペストロの使用～

※フルトンと PP ペストロ使用で光沢が出せます。爪磨き等で自分で光沢をだすと自然な手爪になります。より自然な手爪には透明フルトン、透明 PP ペストロを使用します。（別売）
※指先より長く手爪を作りたい場合はシールンを使用します。

(1)施術前の準備をしっかりと行います。**作業 1** ～ **作業 14**

- A. 自爪は短く切ります。
・爪床から剥がれている爪は、できるだけ切り取って下さい。
・凹がある部位も針状ビットで薄く削って下さい。
- B. 爪上皮（甘皮）は必ずオレンジスティックで押し上げておきます。
- C. 本番エタノールは自爪（凹部位も）がドライヤーで真っ白になるまで行います。
- D. 爪全体と厚みにベンカルンを多めに塗ります。
- E. 10 秒待ち、ナオルン専用ライトを当てます。（趾爪より長く 20 秒程当てて下さい）

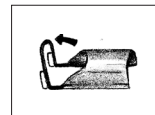
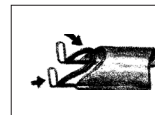
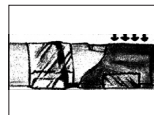
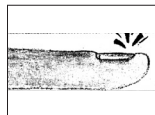
フィンガーサック（別売）

側爪部、指先の皮膚を押し下げるのに便利です。



①テーブルの上においたまま白い止め金を折り上げて下さい。

②サックの針金を後方に移動させて下さい。なるべく自爪と平行になるように取り付けます。



- (2)爪甲の表面に凹がある場合、その部分の空気を抜く為にフルトンで埋めて下さい。→ナオルン専用ライトを当てます。

作業 15

【注意】爪上皮（甘皮）にはフルトロンを絶対につけないで下さい。



爪白癬

- (3) PP ペストロで爪甲全体に人工爪を作ります。

→ナオルン専用ライトを当てます。**作業 16**

・PP ペストロは薄く作ります。ライトを当てる前に、表面はエタノールを指の腹に1スプレーの1/3の量を濡らし丸を描く様に撫で段差を無くします。爪上皮（甘皮）近くはオレンジスティックで押します。

【注意】爪上皮（甘皮）には PP ペストロを絶対につけないで下さい。

(4)形を整えます。手爪の場合、PP ペストロで終了です。作業 17

- ・ PP ペストロで終了した人工爪は磨いてツヤが出せます。
- ・ 力仕事、楽器の仕事、マッサージ仕事の方等へはラバシンを使用して下さい。



■【施術例】 重度の肉芽補正の仕方 【参照 使用法 DVD】

＜フルترونでの重度肉芽補正の利点＞

- 肉芽処理後の患部への包帯代り。
 - ・重度及び最重度の肉芽はフルترونを硬い包帯として使用します。
 - ・隣の趾指や靴に患部が当たらない様にフルترونを広げて固め痛みを防ぎますので、靴を履いて帰れます。
- 止血。出血は1～2分で止まります。
- どんなに大きな肉芽も4日程で補正が終了します。

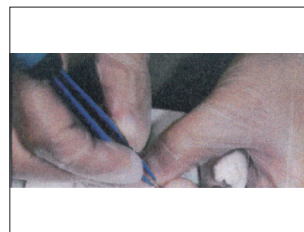


【ポイント】

- ・軽度の肉芽の場合、肉芽部分の処理をした後に、通常通り人工爪を作ります。
- ・重度の肉芽の場合は、巻き爪・陥入爪の人工爪を作ってから肉芽処理をした方がやりやすい場合があります。

■肉芽補正とナオルン人工爪の作成、患部への硬い包帯

- (1)基部（指の根元）をネラトンチューブで締め付けます。
- (2)神経ブロック等の注射を行います。
- (3)医師がハサミで爪甲側縁部と爪縁組織も含めた肉芽と肉芽の潤透部分を奥までしっかりと切除します。



- ・潤透部分が残っていると再発してしまいます。
- ・肉芽周りの炎症し変形した肉（側爪郭）の炎症部分もしっかりと並行にハサミで切除してください。



●人工爪の作成

- (4)残っている自爪に施術前の準備（作業1～13）をします。

- ・出血があってもそのまま行って下さい。
- ・シーレンは、必要ありません。爪床に直接作って下さい。



- (5)切り取って無くなった部分へ通常通り人工爪を作ります。

- A. フルトロン→ナオルン専用ライト。
 - ・固めた後に爪甲部から出血が漏れたら、その部分にフルトロンを足し再度ライトを当てて下さい。
- B. PP ペストロ→ナオルン専用ライト。
- C. ラバシン→ナオルン専用ライト。



- (6)ナオルン人工爪の完成

●患部への硬い包帯

(7)肉芽を処理した部分への硬い包帯を作ります。

A. 再度、患部の消毒をします。

B. フルトロン→ナオルン専用ライト



- ・ 蓋を取ったフルترون容器から多めに出して、先端チューブの金具部分を使い平行に、人工爪に合体する様に厚めに伸ばします。

(8)隣の趾指に当たらない為の硬い包帯代わりの人工爪を作ります。

A. フルトロン→ナオルン専用ライト

- ・ 隣の指に当たらない所までフルترونを厚さ1mmで広げて下さい。

B. ラバシン→ナオルン専用ライト

- ・ 爪甲と肉芽全ての部分を一体化させる為、ラバシンを使用します。
- ・ 必ずラバシンを使用して下さい。

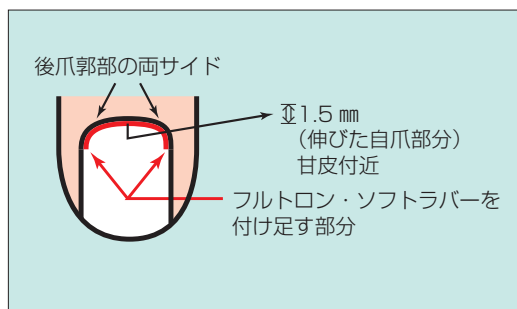
(9)終了

- ・ 医師の診断により経口抗生剤や鎮痛炎症剤の処方をお願い致します。

■包帯代わりの人工爪を取る

- ・ 肉芽補正の後、医師の判断で3～5日後に包帯代りの人工爪だけを切り取ります。
- ・ アクリルニッパーで切り、切り取った部分の人工爪の形を整えて下さい。
- ・ 巻き爪・陥入爪の処置は続いていますので、植え足し（2回目からの再診補正）の予約をして下さい。

■ 2回目からの再診補正の仕方



甘皮付近（後爪郭部）の伸びた自爪部分（1.5mm）にフルترون+ソフトラバーで植え足しを行います。

【危険】

- ・痛みが無くなると再診に来院しない方がいますが、その間にもナオルン人工爪は自爪と共に伸びます。2mm以上伸びても来院し植え足しを行わない方は人工爪の誘導効果が無くなり、形崩れトラブルの元になります。
- ・中度～重度の方が伸びた自爪に植え足しを行わないと、自爪がまた巻いてしまい効果が無くなります。
- ・自爪と人工爪のバランスが崩れ、爪甲（自爪と人工爪の境目）で自爪が割れる恐れがあります。

【補足】

- ・2回目からの再診補正の際、一部爪甲から人工爪が剥がれていた場合、その部分をアクリルニッパーで切り取り、施術前の準備（作業1～作業13）をしっかりと行ってナオルン人工爪を付け足します。この場合前回の施術前の準備が不十分なのが主な原因です。

■ 軽度の再診／植え足しが必要無い方

初回から1週間後に再診。軽度で切り取り部分が少ない方はこの1回で終了です。

(1)自宅にて患者自ら人工爪の爪甲の厚みを徐々に薄く削り、伸びた部分はヤスリで短くしてもらいます。

- ・自宅で厚みの調整をする際にPPペストロまで露出してしまったら、来院しソフトラバーを植え足して下さい。
- ・軽度の方への人工爪は、フルترون、PPペストロは薄く作り、ラバシンで厚みを作って下さい。

(2)人工爪の外し方は（参照 ナオルン人工爪を外す時期 P.29）を参照ください。

■中度～重度の再診／伸びた自爪に植え足しが必要な方

自爪が1.2～1.5mm伸びたら植え足しが必要です。

必ず再診で4～5回の植え足しを行います。終了は切った自爪（作業8で印しをつけた部分）が指先まで伸びた時です。

再診の度に常に患者自らヤスリ掛けをして長さを短くする事を指導して下さい。

<植え足し手順>

(1)自爪に施術前の準備を行います。**作業1**～**作業13**

- ・ オレンジステックで甘皮を押し上げて下さい。爪甲の伸びを助けます。

(2)自爪にフルترون→ライト→ソフトラバー→ライトで植え足しを行います。

【注意】

- ・ 出し過ぎに注意。少しの量で効果があります。出し過ぎた分はライトを当てる前にオレンジスティックを使い余分を取って下さい。出し過ぎで凸凹が出て固まった場合ナオルンマシンの円柱状のビットで平行に削ります。（薄く作って下さい。）

【注意】

- ・ 爪上皮（甘皮）の上には絶対に植え足しを乗せないで下さい。

●再診の頻度

患者様の伸び率をカルテに残し、植え足しの再診頻度の参考にして下さい。

10～20代の方…再診で4～5回の植え足しが必要ですが、自爪の伸びが早いので3～4ヵ月で終了します。再診の植え足しは1.2mm伸びる約3週間に1回が目安です。

年配の方…再診の植え足しは1ヵ月に1回が目安です。

（参照 看護師追加資料 爪甲の伸び率、爪上皮（甘皮） P.45）

■ ナオルン人工爪を外す時期

人工爪は常に短くしておく様に指導して下さい。初回に切り取った自爪部分（作業8で印しをつけた部分）が指先まで伸びたら終了です。

■ 軽度の場合

1週間後の再診後、問題が無い場合は患者自ら人工爪の厚みを少しずつ薄くしていきます。人工爪の長さは患者自らヤスリを使い常に短く形を整えておき、自爪（作業8での印し部分）が指先まで伸び切ったら終了です。

■ 中度～重度の場合

患者の爪の伸び率によりナオルン人工爪を外す時期が異なります。
年齢により20歳までは爪甲の伸びが良く、通常より早く終了します。
40歳以上の方は爪甲の伸びが段々と遅くなり、70歳以上の方は1ミリ伸びるのに長くなる為、再診の植え足し回数は少ないが終了まで時間がかかります。
60歳以上の方や男性の方は伸びが遅く、2回目の植え足しの補正も1.2mm伸びるのに1ヶ月かかる場合があります。

■ 人工爪の取り方

(1) 病院で取る場合…粉が飛ばないようにビニール袋に指先を入れ、グラインダー、ナオルンマシーン、粗目ヤスリ、アクリルニッパー等で取ります。

(2) 自分で取る場合…粗目ヤスリで徐々に薄くして取ります。
（爪切り使用可）



<ポイント>

- ・ナオルンは除光液やアセトンに溶けません。
- ・爪甲に残っている人工爪は全部取らずに必ず薄く残して下さい。
- ・爪が硬い人工爪に慣れてしまっていますので、一回で取らず2週間かけて徐々に薄くして下さい。

第4章 各種症状とナオルン

■ ナオルンが使用できない爪

- ①爪甲が伸びない爪…趾末節骨のトラブルや他の原因で爪甲が伸びない場合は使用できません。
※末節骨の異常・変形より爪甲が伸びない硬厚爪甲や肥厚爪は使用できません。(爪甲が伸びている方、普通の肥厚爪の方は使用できます)
- ②細菌感染の爪…白癬菌等で軟膏など外用薬の方は使用できません。(内服薬の方は使用できます)
- ③緑色爪 (グリーンネイル) 等の方…爪組織内に病変がある方。
- ④爪周囲炎症に腫瘍・維腫等の重度トラブルのある方。

<主な対象症例>

- ・肥厚爪 [爪甲鉤湾症] … [参照 P.33]
- ・黄色症候群爪
- ・爪甲萎縮病爪 [オニカルフィアアτροφイ]

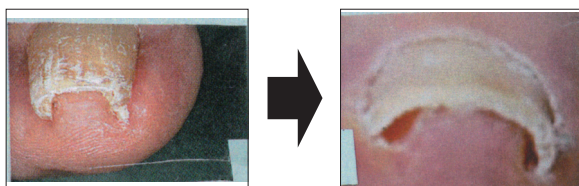
■ ナオルンが使用できる爪

[参照 看護師用追加資料 爪の症例 P.47]

■ フルトロン+ PP ペストロ+ラバシンの使用

<主な対象症例>

- (1)巻き爪…最重度 100 度まで補正… [参照 P.19、P.49]



- (2)陥入爪…最重度 100 度まで補正… [参照 P.19、P.50]



- (3)肥厚爪 [厚硬爪] [爪甲下角増殖 (内服薬の場合)] [爪白癬爪 (内服薬の場合)] … [参照 P.33]

- (4)剥離爪 + 陥入爪 (巻き爪) … [参照 P.34]

- (5)爪上皮 (甘皮) に近い爪甲の脱落… [参照 P.34]

- (6)外傷爪… [参照 P.35]

- (7)埋没爪… [参照 P.36]

- (8)爪甲脱落症爪 (内服薬の場合) [乾癬爪]

- (9)爪カンジタ (内服薬の場合)

- (10)ラケット爪

■ フルトロン+ PP ペストロの使用

<主な対象症例>

- (1) 噛爪、咬爪症… [参照 P.23]
- (2) 変形爪… [参照 P.36]
- (3) 爪下出血による剥離、
- (4) トランペット爪（症状を判断）
- (5) ステープル爪（症状を判断）
- (6) その他、似た爪病変

■ フルトロンのみ使用

☆ フルトロンの主な使い方

巻き爪、陥入爪、痛い不用部分の爪を切除した後、代りの人工爪の土台として使用。薄く作ります。

☆ その他の使い方

- (1) 爪と爪の接着剤として使用…爪甲の外傷 etc.（外傷が深い場合爪甲全体に PP ペストロを薄く作る）
- (2) 硬い包帯として使用…大きな肉芽を取った後や止血の為の用途。処置後フルトロンを広く作り、患部が隣の趾指に当たっても痛く無く靴を履いて帰れます。
- (3) 脱落した爪を作る…2趾～5趾の小さい爪甲に使用。PP ペストロは必要ありません。

<主な対象症例>

- (1) 肉芽組織形成（肉芽補正）… [参照 P.25]
- (2) 剥がれ爪… [参照 P.35]
- (3) 無爪… [参照 P.37]
- (4) 爪甲中央縦裂爪
- (5) 爪の怪我

■ PP ペストロのみ使用

爪甲剥離、噛み爪、薄爪、脱落爪、スプーンネイル、糖尿病爪など爪甲の変形等で、爪甲の厚み、長さが必要な場合に使用できます。

<主な対象症例>

- (1) 爪甲剥離… [参照 P.34]
- (2) 自傷爪 [洗濯板爪] [中央縦溝爪] [噛み爪] [爪甲損傷爪（癖による変形爪：爪甲をむしる・爪母をいじる）]
- (3) 薄爪
- (4) 横線爪
- (5) 縦線爪
- (6) 匙状爪（スプーンネイル）
- (7) 糖尿病爪
- (8) 二枚爪
- (9) 卵殻爪
- (10) 深爪

■ その他

☆治療後に補正可能

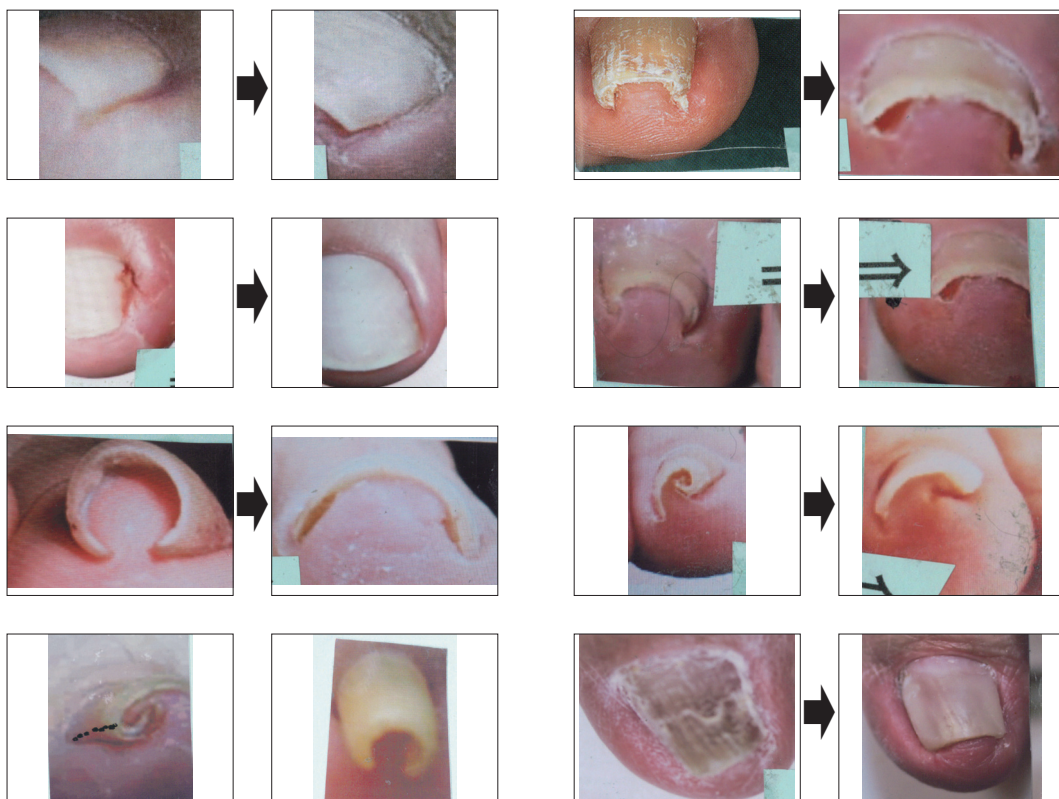
<主な対象症例>

- (1)末節骨による変形爪（整形外科担当）
- (2)爪メラノーマ（内科担当）
- (3)翼状爪膜（症状を判断）
- (4)爪周囲炎
- (5)扁平たいせん
- (6)尋常性乾癬
- (7)爪甲横溝
- (8)爪真菌

☆見た目だけの補正は可能

<主な対象症例>

- (1)時計皿爪 [ピポクラス爪]（症状を判断）
- (2)ばち爪（症状を判断）



各種症状

●施術に当たっては、必ず「施術前の準備」をしっかりと行って下さい。●

肥厚爪

☆厚硬爪…ナオルン使用可

爪甲自体が厚くなる。

<原因>

爪甲の伸びが妨げられる。深爪、抜爪、脱落、薬品使用。



肥厚爪

☆爪甲下角増殖…内服薬の場合、ナオルン使用可

上方に向いて伸び、爪甲と爪床が離れて間に角質が溜まる爪甲の発育異常。

<原因>

爪白癬が最も多い。
爪真菌、薬品使用。



下角質増殖爪

☆爪甲鉤湾症…ナオルンはできるだけ使用しないで下さい

爪甲が異常に厚くなる。爪甲側縁と側爪郭が切れていて接合していない鉤形に湾曲する。爪が黄色に変色。



<原因>

肥厚爪を放置して悪化。末節骨の異常。

<Q&A ナオルン人工爪が簡単に取れた>

A. 肥厚爪は、硬いがとても脆くなっています。

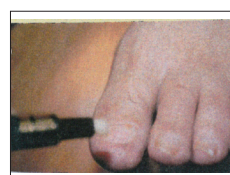
肥厚爪自体が菌に侵された不用な爪ですので、土台に適さない悪い爪が取れるのは良い事になります。

対処は、PP ペストロを主に使って人工爪を繰り返し作り直して正常な爪が伸びるまで植え足しを行います。人工爪の長さは常に指先と同じ長さにしておく様に、また指先の先端の幅を狭く、自分で常に整える様に指導して下さい。

(※人工爪は短くても長すぎても良くありません。
幅が広すぎると隣り指や靴にぶつかってしまいます。)

<補正方法>

- (1)硬い自爪なのでアクリルニッパーを使いできるだけ短く切ります。安全の為、保護メガネ着用してください。
- (2)粗目ヤスリや円柱ビットを使い爪甲の厚みをできるだけ薄く削ります。
- (3)下角増殖の場合、できるだけ爪甲と爪床の間の角質を取り除きます。
・埋もれている場合、L字状の金具の棒で持ち上げ不用部分の爪を切り易くして下さい。
- (4)不用部分の爪を切ります。
・再発を防ぐ為、小骨はしっかり切して下さい。
- (5)「施術前の準備」をしっかりと行って下さい。
・ペンカルンを多めに爪甲の厚みにもしっかり塗して下さい。
- (6)通常通りナオルン人工爪を作ります。
・フルトロン、PP ペストロは薄く作して下さい。
A. フルトロン→ナオルン専用ライト
B. PP ペストロ→ナオルン専用ライト
C. 形を整える。
D. ラバシン→ナオルン専用ライト



(7)終了

■ 爪甲剥離

菌が無いか調べ、内服薬の場合は使用できません。

<原因>

爪甲が爪床から剥がれる皮膚疾患。そのままにしておくと剥離が広がる。手爪に多い。

<補正方法>

PP ペストロのみ使用します。

- (1)剥離している部分を切ります。表面はナオルンマシンか粗目ヤスリで取ります。
- (2)薄く PP ペストロを作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。
- (3)終了
 - ・爪の光沢は患者自ら行えます。
 - ・趾爪の場合はラバシンを使用して下さい。

■ 剥離爪+陥入爪（巻き爪）

<補正方法>

- (1)どのような趾爪でも、爪はできるだけ短くアクリルニッパーで切っておきます。
 - ・指先から剥離の上にナオルンを作るには土台の爪が弱い為、全て切り取って下さい。
 - ・剥離している部分はアクリルニッパーで切り取って下さい。
- (2)陥入爪（巻き爪）をナオルン人工爪で補正します。
- (3)剥離爪部分はPP ペストロとラバシンで指先と同じ長さにナオルン人工爪を作ります。
- (4)終了



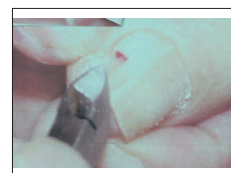
剥離爪



先端まで短く切る



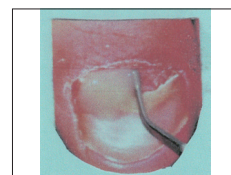
浮いている部分を全て切る



■ 爪上皮(甘皮)に近い爪甲の脱落

<原因>

後爪郭部、爪母の炎症、外傷 etc.



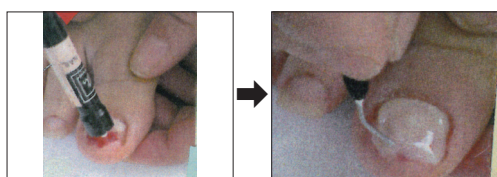
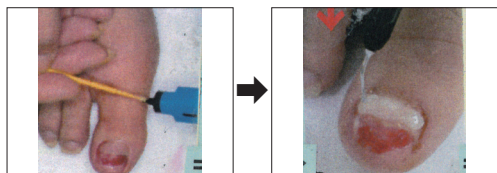
<補正方法>

- (1)剥がれている爪を切り取り除きます。
- (2)空気が入らない様にフルトロンを薄く伸ばします。→ナオルン専用ライトを当てます。
- (3)PP ペストロを薄く作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。
 - ・手爪の場合はヤスリで光沢を出せます。
 - ・透明フルトロン、透明 PP ペストロがあるとより美しく仕上がります。
- (4)趾爪の場合ラバシンを使用します。
 - ナオルン専用ライトを当てます。
 - ・透明色のマニキュアを塗るとラバシン表面へのゴミ付着を防げます。
- (5)終了

剥がれ爪

<原因>

けが・事故・スポーツ・つまずき等、爪が剥がれる原因は多々あり来院する方も多い現状です。



<補正方法> [参照 使用法 DVD]

- (1)残っている爪甲に施術前の準備をします。
 - ・爪甲全体が全て剥がれている場合は残っている爪甲が無いので、痛みと止血の為にフルトロンを使用します。その際はテープはきつめに巻いて下さい。フルトロンが固い包帯となるので靴が履けます。
- (2)爪甲全体にフルトロンで人工爪を厚めに作ります。
 - ・フルトロンを硬い包帯代わりに使用します。出血していても使用できます。
 - ・フルトロンをの蓋と先端チューブを取って、多目に使用して下さい。
 - ・表面かなだらかになる様にフルトロン先端の金具で形を整える
- (3)ナオルン専用ライトを当てます。
- (4)人工爪を作ったら軽くテープを巻き固定します。
 - ・ナオルンは爪床や皮膚には軽くしか着きませんので、テープで動かない様に



テープ粘着面 爪甲が当たる部分には布などをあてる



先端に絆創膏を強めに巻いて置いて下さい。絆創膏を取る時はハサミで切り取って下さい。

固定します。その際に爪甲の上は粘着面を避けて下さい。

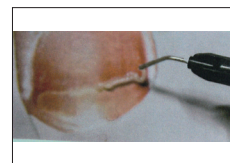
(5)終了

- ・2週間程すると爪床に皮膜が生えます。又人工爪を作る or そのまま爪甲を伸ばすかして下さい。

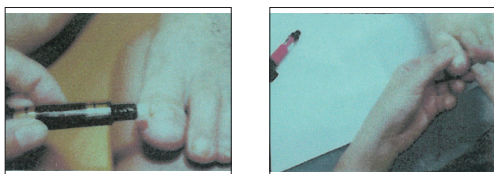
外傷爪

<補正方法>

- (1)爪甲と爪甲を合わせてフルトロンを流します。→ナオルン専用ライトを当てます。
 - ・出血や爪床が飛び出ている場合は、それらの処置をしてから爪甲同士を合わせて下さい。
 - ・フルトロンを接着剤代わりにして固定します。
- (2)施術前の準備を行います。
- (3)薄く PP ベストロ→ナオルン専用ライトを当てます。
- (4)薄くラバシン→ナオルン専用ライトを当てます。
 - ・手爪の場合ラバシンは使用しません。
- (5)終了



変形爪



<原因>

スポーツによる繰り返し趾先への圧力、刺激による爪母の炎症。職業による爪の変形（マッサージ師、重い物を持つ）。

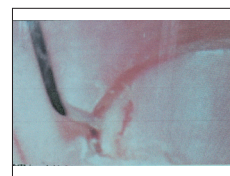
<補正方法>

- (1) 自爪を短く切り、爪甲の要らない爪を全て切ります。
- (2) 施術前の準備をする。
 - ・凹部分もしっかり削ります。
- (3) 爪甲の凹部をフルトロンで埋めます→ナオルン専用ライトを当てます。
- (4) PP ペストロで理想な厚み、指先までの長さの人工爪を作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。
 - ・後爪郭（甘皮）と段差無く作ってください。
- (5) 終了
 - ・常に人工爪を短くする事を指導し、来院で植え足しをして下さい。
 - ・手爪の場合、マッサージ師等の職業によっては衝撃を和らげるラバシンを多めに使用する等対応して下さい。

埋没爪

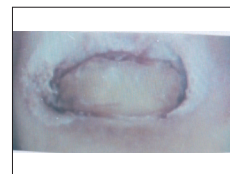
<原因>

深爪、噛み爪、むしり爪。



<補正方法>

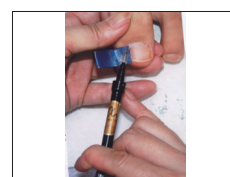
- (1) L字状金具の棒で埋没している爪を持ち上げ、先端が鋭く薄い強度のある医療用ハサミで不用部分の爪を切ります。



- (2) シールンを横に切り、切った爪甲との間に挟むように看護師に持って貰い作業して下さい。

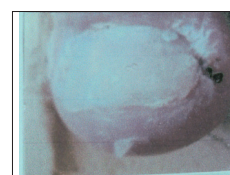


- ・側爪郭を含め指先の皮膚が盛り上っている場合は、指先の皮膚を押し下げる為にシールンを指先に付けて下さい。



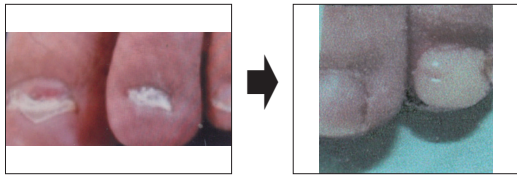
（参照 P13 シールンの使用方法）

- (3) フルトロンで上向きに人工爪を作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。



- ・PP ペストロは指先まで作ります。
- (4) PP ペストロで理想の爪を作ります。→ナオルン専用ライトを当てます。
 - ・PP ペストロは指先まで作ります。
 - ・手爪の場合、透明PP ペストロ使用により自然に仕上がります。自身で磨き光沢が出せます。
 - (5) ラバシン→ナオルン専用ライトを当てます。
 - (6) 終了

■ 無爪



<原因>

きつい靴による第5趾に多い。角質のみになっている深爪、むしり取っている。

<補正方法>

- (1)できるだけ爪甲の周りの角質をナオルンマシンの針状ビットで取ります。
- (2)ベンカルンを塗ります→10秒待つ→ナオルン専用ライトを当てます。
- (3)フルトロに先端チューブを取り付け、指先まで爪を作ります→ナオルン専用ライトを当てます。
- (4)終了。

第5章 商品説明（主要商品）

ナオルン専用ライト



保証期間 6 ヶ月。
修理期間 1 年間



防護メガネ（別売）

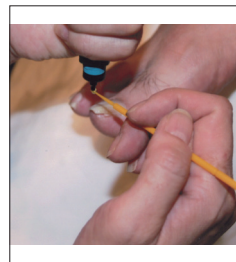
<商品説明>

- ◆自爪、フルトロン、PP ベストロ、ラバシン、ソフトラバーに合わせて作製された波数・波長の専用ライトです。
- ◆ペンカルンと化学反応を起こして、取れ無いナオルン人工爪の土台ができます。
- ◆照射 3 秒から硬化が始まります。10 秒ほどで充分です。ラバシンとソフトラバーはゴム製なので、長めにライトを当て好みの固さにします。
- ◆皮膚にも安心・安全です。UV ライトではありません。他のライトを使用すると火傷の危険がありますのでお止め下さい。
- ◆ナオルン専用ライト本体に防護板を必ず取り付けてお使い下さい。看護師が手伝う際は肉眼でライトを見ない様に防護メガネ（別売）をお求め下さい。
- ◆1 回 6 時間の充電で 80 回使用できます。移動で持ち出す際は充電を十分にして下さい。
※充電が足りないと、青い光が出ていても固まりが遅くなります。
※光が出ない場合はバッテリー切れ、落下や衝撃による破損が考えられます。ライトに不具合がある場合はお知らせ下さい。

<使用方法>

- ◆P のボタンを押すと青い光が出て、又押すと消えます。
- ◆照射時間は基本の 20 秒モード（1 番上のホチキス型）で設定してあります。
- ◆ライトの照射モードは 3 種類あります。他のモードになってしまったら、M のボタンを一番上のホチキス型に合わせ、指を離さずそのまましばらく押しています。「ビピ…」と音がしたら、P のボタンを押して 20 秒～30 秒に設定して下さい。
- ◆充電の仕方は充電台に本体を置き、AC アダプターのオレンジ色の表示が青色になったら充電終了です。充電は水平で振動の無い場所で行って下さい。

ペンカルン



最も重要な商品です。専用ライトの波数と化学反応を起こし、人工爪が取れない強固な被膜になります。

ペンカルンを塗る→10 秒待つ→ドライヤー（冷風）→ナオルン専用ライト

<商品説明>

- ◆爪甲に被膜を形成し、爪甲にナオルン人工爪を強固に接着させます。
- ◆ペンカルンは爪甲のみに有効で、爪には浸透しません。
- ◆成分／接着性モノマー、エステルモノマー、アドヒシブ。
- ◆冷暗所 2 ～ 27℃で保存。

<使用方法>

- ◆蓋を 3 ミリ回し引き中蓋が取れこぼれ無い様に開けます。中の先端の黒い部分は絶対に触らないで下さい。
- ◆ペンカルン容器は真直ぐ垂直に持って下さい。斜めに持つと多く出てしまいます。
- ◆ペンカルン容器本体を直接爪甲につけない事。必ずカルンスティックを使用して下さい。
- ◆カルンスティックを横に持ち、綿の部分に 1 滴ペンカルンをのせて爪甲に塗ります。
- ◆母趾の場合は平均 3 滴です。爪の厚みにも塗り、塗残しがない様多めに塗って下さい。
- ◆爪甲の周り（皮膚）に塗ってしまったら施術終了後に軽く拭いて下さい。
- ◆10 秒動かさず放置し、爪甲の上で安定させてから冷風ドライヤーをかけて下さい。
- ◆ペンカルンには必ずナオルン専用ライトを当てて下さい。化学反応により爪甲に強固な被膜を形成させます。

■ カルンスティック



<商品説明>

- ◆ペンカルンを爪甲と爪の厚みに塗る為の専用スティックです。

<使用方法>

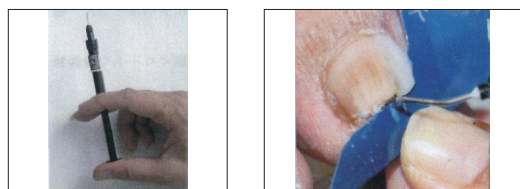
- ◆先端の綿にペンカルンを1滴のせ塗ります。
- ◆一人に一本の使用で使い捨ててください。

■ フルトロン

（ガラス製）



先端チューブ



不要な爪を切り取った部分に代わりの人工爪を作ります。

※手爪用：透明フルトロン（別売）

【注意】

爪上皮（甘皮）には、フルトロンやPPペストロを絶対につけないで下さい。

<商品説明>

- ◆ペースト状のガラスフィラー。
- ◆成分／ウレタンメタクリレート 他。
- ◆ライトを当てない限り固まりません。
- ◆除光液、アセトン他の溶剤では溶けません。
- ◆2～27℃で保存

<使用方法>

- ◆フルトロンのフタを取り、先端チューブを奥まで差し込みセットします。先端チューブは基本一人1本で使い捨てます。脱落に注意して下さい。
- ◆基本的に薄く作ってください。
- ◆ナオルン専用ライトを当てて硬化させます。

<主な用途>

- ・巻き爪・陥入爪の不要な爪を切り取った部分に代わりの人工爪を作ります。
- ・剥がれ爪・脱落爪等で無くなった爪の爪床の上にも使えます。
- ・肉芽の補正後の止血に使えます。
- ・患部の保護や痛みを避ける為の硬い包帯として使用できます。
- ・爪甲の外傷（切断）による接着剤として使用できます。
- ・無爪等で第5趾の爪が圧迫により無い場合はフルトロンで人工爪を作ります。

■ PP ペストロ

（ガラス製）



フルトロンを粘土状にしたガラスフィラー。フルトロンで代わりの人工爪を作った後に、爪甲全体にPPペストロで薄く人工爪を作ります。

※手爪用：透明PPペストロ（別売）。

【注意】

爪上皮（甘皮）には、フルトロンやPPペストロを絶対につけないで下さい。

<商品説明>

- ◆粘土状のガラスフィラー。
- ◆成分／ウレタンジメタクリレート、その他の触媒で形成。
- ◆ライトを当てない限り固まりません。
- ◆除光液、アセトン他の溶剤では溶けません。
- ◆2～27℃で保存
- ◆手爪の場合、固まったPPペストロをヤスリで磨いて光沢を出してマニキュア・アートができます。（光沢ヤスリ：別売）

＜使用方法＞

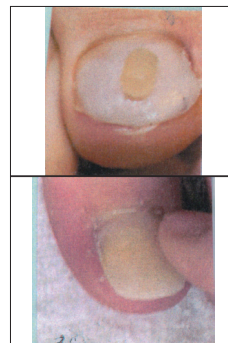
- ◆ネジ式容器になっています。多く出て無駄にしない様にネジをゆっくりと動かし、大豆ほどの大きさを取り出します。
- ◆PP ペストロを親指と人差し指で練って丸く柔らかくし、爪甲の中心にPP ペストロを置きます。冬は硬くなるので、ドライヤーの温風で温めて柔らかくして下さい。
- ◆人差し指の腹で爪甲全体的に伸ばして、後爪郭部と段差を無くして下さい。細部はオレンジステックで押して段差を取ります。
- ・PP ペストロは爪甲全体と一体化させる用途で薄く作ります。
- ・人差し指の腹にはんの少しエタノールで濡らし、作り終えたPP ペストロの表面を撫でると段差がでません。
- ◆ナオルン専用ライトを当てて硬化させます。



先端にオレンジスティックを入れてすくい出して下さい。

しながら作ります。

- ◆後爪郭部に段差が無い様に作ります。細部はオレンジステックで押して下さい。
- ◆ナオルン専用ライトを当てて硬化させます。ライトは少し長めに当てて下さい。
- ◆ゴム製でべたつきがありますので、ゴミ付着を防ぐ為に透明マニキュアが塗れます。



■ ソフトラバー

（ゴム製）



先端チューブ



＜商品説明＞

- ◆ラバシンをペースト状にしたゴムフィラーです。
- ◆ライトを当てない限り固まりません。
- ◆2～27℃で保存（常温）。ゴム状なので冷蔵庫に入れないで下さい。

＜使用方法＞

- ◆中度～重度の巻き爪、陥入爪、トラブル爪の二回目からの植え直し補正に使用します。
- ◆60度以上の重度巻き爪・陥入爪の趾指先端の細くなった幅（狭い先端の爪、指の先端の狭い幅）を広げ、両サイドの先端の幅を普通の幅に補正する為に使用します。
- ◆ソフトラバーは、ナオルン専用ライトを少し長めに当てて好みの固さに硬化させて下さい。

☆ラバシン

（ゴム製）



爪甲の厚みの調整はラバシンでつくります。人工爪に弾性を持たせて割れないようにし、自爪により近い爪を再現します。

＜商品説明＞

- ◆ゴムフィラーです。
- ◆成分／メタクレート、ケイ素、着色料 他
- ◆ライトを当てない限り固まりません。
- ◆フルトン・PP ペストロを硬化させた後、ラバシンで厚みの調整をします。
- ◆趾爪用の最後には必ず使用します。
- ◆2～27℃で保存（常温）。ゴム状なので冷蔵庫に入れないで下さい。

＜使用方法＞

- ◆硬化したフルトンやPP ペストロの上にラバシンのネジを回して適量を出します。
- ◆丸くしたラバシンを爪甲の中央に置きます。
- ◆人差し指の腹で爪甲全体的に厚みを調整



出し過ぎない様にオレンジステックですくい取る

■ シールン



人工爪を作る際の下敷（土台）として使用

＜商品説明＞

- ◆不用部分の爪を切り取った部分に代替りの人

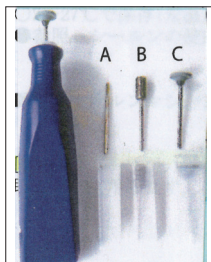
工爪を作る際の作業用の下敷です。

- ◆PET 製です。
- ◆裏面が粘着シートになっています。
- ◆2～27℃で保存（常温）。冷蔵庫に入れないで下さい。

<使用方法>

- ◆参照 シールンの使用方法 [P.13]

■ ナオルンマシーン



<商品説明>

- ◆ガラスフィラー、自爪に合わせた回転数マシーンです。
- ◆先端ビットは3種類（円盤状、円柱状、針状）付いています。多種のビット（別売）があります。
- ◆単三乾電池2本使用（別途ご用意ください）。

<使用方法>

- ◆ビットを本体の奥まで差し込みます。取れ無い場合はアクリルニッパーで挟み抜いて下さい。
- ◆本体を横に持って使用して下さい。立てて使用すると爪甲に穴を空いてしまう恐れがあります。
- ◆人工爪の形を整える際、円盤状のパワーが弱い時は円柱状のビットを立てて使用下さい。又はダイヤモンドタイプのビットをお求め下さい。（別売 5,000 円～10,000 円）
- ◆ビットはオートクレーブ（高压蒸気滅菌器）が使用できます。
- ◆消毒はナオルンエタノール 96% 以上で行って下さい。使い終わったビットはハブラシ等で汚れを取り消毒を必ずして下さい。

■ ナオルンエタノール（96%）

スプレー式密封容器エタノール（ナオルン E・T）。爪の油分・水分を取る為に重要です。



参照 補足説明 / 消毒（ナオルンエタノール）について [P.9]

<商品説明>

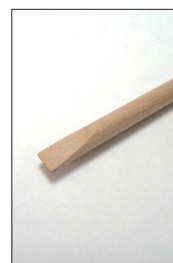
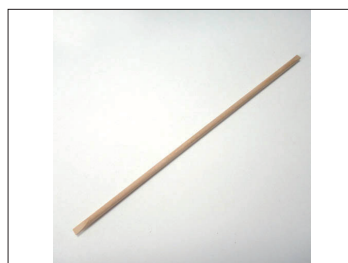
- ◆ナオルン人工爪を作る際に一番適したエタノールです。
- ◆成分 96%のエタノールです。水分の多い消毒用エタノールとは異なります。

【注意】

他のアルコール消毒剤では、水分・油分を取る効果が出ません。

- ◆爪の油分・水分をしっかりと除去し、取れにくい人工爪作る為に重要な働きをします。
- ◆爪や器具の消毒に使います。
- ◆無水エタノールも使用できますが、成分蒸発を防ぐ為必ずスプレー式密封容器で行って下さい。

■ オレンジスティック



<商品説明>

- ◆ネイル用にオレンジの木から作った柔らかい棒で、色々な時に使います。常に自分の近くに置いて下さい。

<使用方法>

- ◆先端を鋭く鋭角に粗目ヤスリで削って使います。スティックが短くなるまで使えます。
- ◆常に尖った状態にして置き、エタノールで消毒しておきます。

<主な用途>

- ・巻き爪、陥入爪の痛い部位を見つける時に使用。
- ・爪の周りの皮膚を押し下げたり、流れ出た PP ベストロやフルトンを取る時に使用。
- ・角質を取る時に使用。
- ・上爪皮（甘皮）を押し上げる時に使用。
- ・不用部分の爪を切った後の切り残し（小骨）を確かめる時に使用 etc。

■ ナオルンシザー（シールン用）



<商品説明>

- ◆シールンを切る際に使用します。丸くカーブに切り易いハサミです。
- ◆丸みを持っているので、ラインに沿って切りやすくなっています。

■ ニッパー（不用爪除去用）



ニッパー

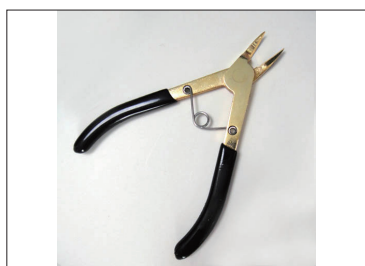
<商品説明>

- ◆足の巻き爪、陥入の不用爪甲部分を切り取る為のハサミです。
- ◆研げませんので切れなくなったら買い替えて下さい。

<使用方法>

- ◆参照 不用部分の爪の切り方 [P.10]

■ アクリルニッパー（人工爪用）



アクリルニッパー

<商品説明>

- ◆硬いナオルン人工爪を切る為の金属製ニッパー。
- ◆自爪を短く切る際にも使用します。

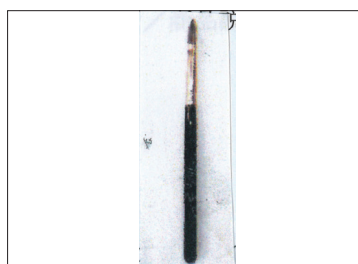
<使用方法>

- ◆目をガードする保護メガネをして作業して下さい。切った硬い破片が飛んでくる事があります。
- ◆参照 人工爪を外す時期 [P.29]

<主な用途>

- ・人工爪を外す時に使用。
- ・ライトをあてた後、一部取り除きたい時に使用。
- ・前準備での自爪を短くする際に使用。
- ・硬い肥厚爪を切る際に使用。

■ ブラシ（粉払い用）



ブラシ

<商品説明>

- ◆施術前の準備の際にヤスリやナオルンマシンで出た粉を払うブラシです。

<使用方法>

- ◆化粧の際のフェイスブラシやパソコン用のエアースプレーも便利です。
- ◆刷毛（はけ）の部分は一人終える毎に消毒して下さい。
- ◆参照 消毒（ナオルンエタノール）について [P.9]

■ ヤスリ（粗目ヤスリ、細目ヤスリ）



粗目ヤスリ



細目ヤスリ

- ・手爪用：光沢ヤスリ（別売）

<商品説明>

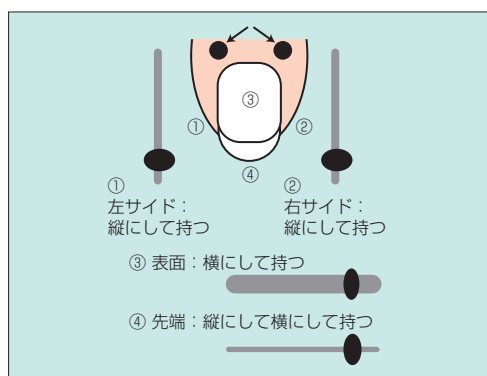
- ◆目の粗さが一般販売されていないナオルン専用ヤスリです。
- ◆粗目ヤスリ…表と裏の荒さが違います。型や爪甲の表面を整えるヤスリです。
- ◆細目ヤスリ…粗目ヤスリの後に人工爪の表面

を滑らかにするヤスリです。

◆色は変わる事があります。

＜使用方法＞

- ◆使用後は歯ブラシ等で粉を取りナオルンエタノールで消毒。
- ◆感染菌の方へ使った場合は廃棄する事。
- ◆爪の形を整える際、爪甲の周りの皮膚（側爪郭）を指で押し下げ、皮膚を傷つけない様にヤスリ掛けして下さい。



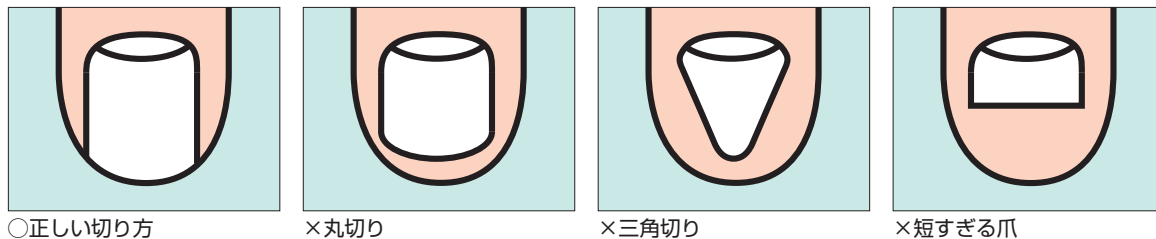
ヤスリの持ち方とヤスリのかけ方

※●は持つところ。ヤスリは主に中心部を使います。

第6章 看護師用追加資料

■ 間違った爪の切り方

フットケア学会では爪の切り方を重視しています。爪の切り方によって巻き爪、陥入爪になるからです。



■ 足指型3種による巻き爪・陥入爪になりやすい爪

☆ギリシャ型足指

第2趾指（人差し指）が長く巻き爪、陥入爪になる。（欧米人に多い）

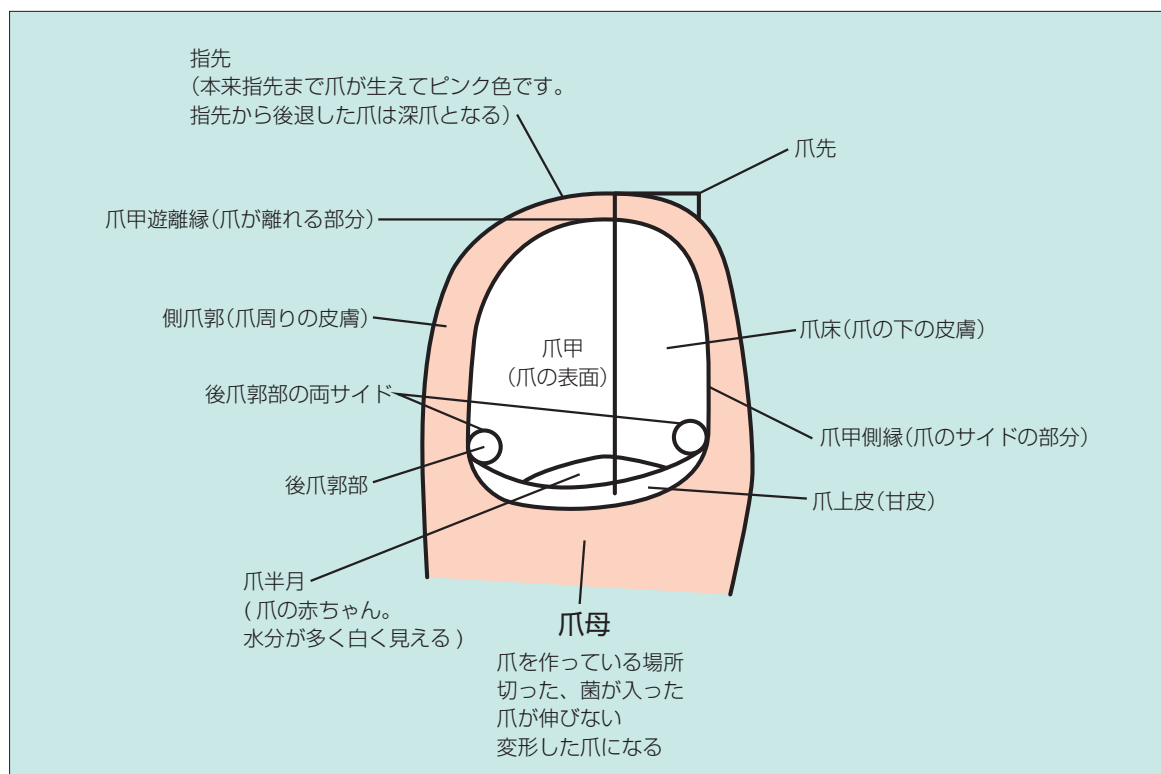
☆エジプト型足指

第1趾指の母趾（親指）が長く巻き爪、陥入爪になる。（日本人に多い）

☆スクエア型足指

足指がほとんど同じ長さの指。

■ 爪の名称



☆爪の成分

硬ケラチンを多く含む。(カルシウムを少し含みます)

皮膚の角質(かかと等)は軟ケラチン。

☆足爪甲の厚み

成人の方(20代) 親指……0.8～1.0mm 他の指…0.3～0.5mm

☆爪甲の伸び率

爪の伸び率(30代男性)	手爪	1日	0.1mm	趾爪	1日	0.05mm
		1カ月	3.0mm		1カ月	1.50mm

幼児は1日0.05mmと非常に遅い。

19歳までが最大。20歳頃…1日 0.1mm。

年齢と共に遅くなり厚くなる。50歳頃からは幼児の伸びに劣る。

☆爪上皮(甘皮)

爪上皮(甘皮)は、年配になるほど硬く多くなります。

◆男性や高齢者、爪変形の方等は甘皮が硬く多く生え、しっかりと爪甲に固定した様になります。
固定された甘皮は爪の伸びを阻止して伸びない爪になります。

◆若い方が爪が伸び易いのは、爪上皮が柔らかく少ない為です。

甘皮を押し上げて、爪と甘皮を離すと伸び率が上がります。

◆ナオルン人工爪で補正する際は、オレンジスティックで甘皮を剥がして押し上げると爪が早く伸び治りが早くなります。

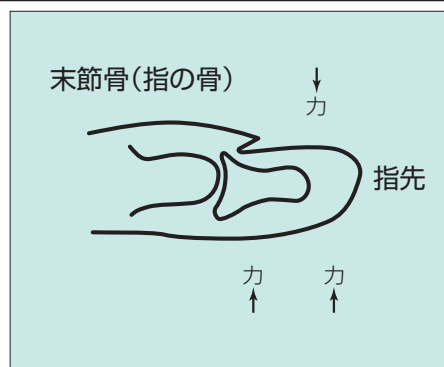
◆ネイルサロンでは甘皮専用ニッパーで切り取り、新しい爪を早く伸ばす様にケアします。又、爪甲(爪)が広くなり、人工爪が作り易くなります。

■末節骨の構造と働き

趾指の骨は指先の先端までありません。趾指の途中位しか無いので、末節骨にトラブルがあると、そのトラブルに合った爪甲(爪)の変形が現れます。[例:埋没爪、肥厚爪、鉤湾症、時計皿爪、ばち爪 etc.]

運動面で蹴ったり歩行が安定しない等の障害が出て、爪が伸びない肥厚爪等の治り難い爪になります。痛みが酷くなり整形外科等の手術が必要な場合が多くなります。

正常な末節骨になったら、ナオルン人工爪で補正ができます。(爪の厚みを作る等)



■ 肉芽組織形成

☆肉芽の進行度合い

- ◆軽 度 黒色期 慢性期の深い
- ◆中 度 黄色期 壊死組織が潰瘍底に残り滲出液が増える
- ◆重 度 赤色期 肉芽組織が増生
- ◆最重度 白色期 上皮形成になる

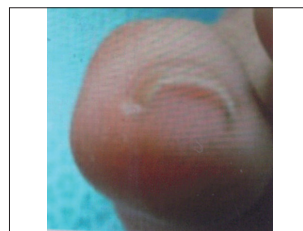
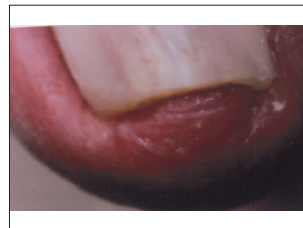
☆肉芽組織の補正方法

- ◆電気メス
- ◆レーザーメス：炭酸ガスレーザー
- ◆自然放置：テーピングや他の方法で爪と肉芽を離して自然収縮
- ◆薬を使い肉芽を補正する方法：クエン酸、液体窒素、硝酸銀、フェノール etc.
- ◆切除

■ 爪の症例

★軽度～重度の爪の巻き方（巻き爪）（陥入爪）

○巻き爪…（湾曲）（挟み爪） ◇陥入爪…（刺し爪）



☆正常 10～30度

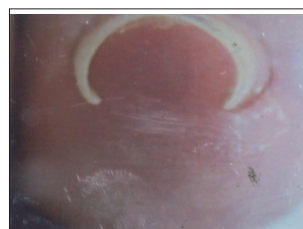
☆軽度 40～50度

巻き爪は爪甲が指先方面に伸びるにしたがい軽い湾曲。

○巻き爪湾曲

爪床部を挟む様に内側に湾曲して伸びていく爪。

靴を履くと痛む。

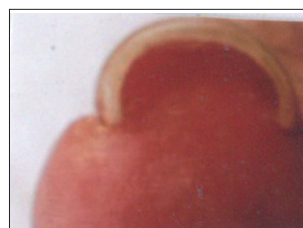


◇陥入爪（刺し爪）

爪甲側縁先端が側爪溝で軟部組織に縦に食い込む爪。

軽度でも強い痛みあり。

初期は軽いホチキス形が多い。



☆中度 60～70度

巻き爪は歩行の際に痛みあり。中度の湾曲。

靴の両サイド、下からの圧力により爪床部の中央が盛り上がる爪。

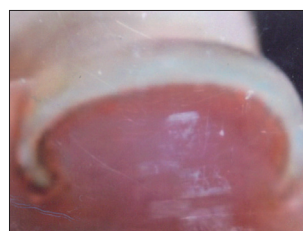
○巻き爪（湾曲～挟み爪）

爪床を巻き挟む様に中央部が盛り上がり、丸い円筒状になる爪。



◇陥入爪（刺し爪）

軟部組織に縦から食い込み、爪床部を刺しながら挟み込む円筒状になる爪。



☆重度 80～100度

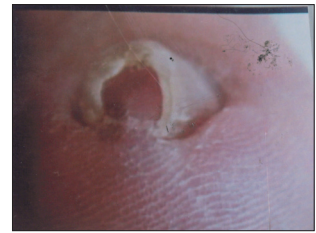
軟部組織、爪床を刺しながら巻く。殆ど丸く爪が巻いている。

○巻き爪

激痛あり。爪床を挟んだ爪が完全に丸い形の円筒状の爪。

トランペット爪、ストローネイル等。

爪周囲あり。



◇陥入爪（刺し爪）

損傷部に慢性の刺激の為、細菌感染。

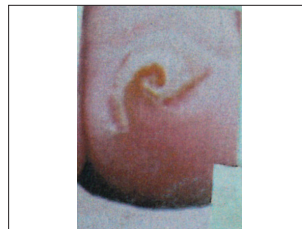
爪郭部の（爪の両サイド、指先の先端）が肥厚している。

肉芽形成、（爪がぶ厚く）肥厚爪の方が多い。

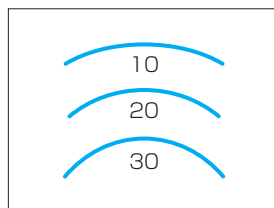


☆混合爪

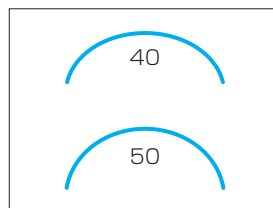
1本の爪で右側巻き爪、左側が陥入爪。症例はとても多い。



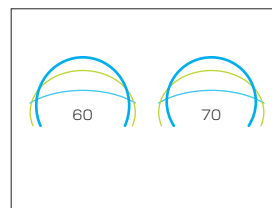
☆巻き爪角度



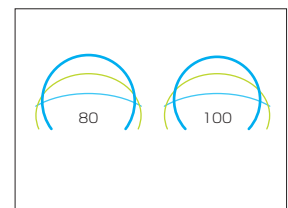
正常 10～30度



軽度 40～50度



中度 60～70度



重度 80～100度

★巻き爪

軽度（湾曲爪）⇒重度爪…爪床を挟みながら湾曲する爪（挟み爪）

☆原因と特徴

- ◆外反母趾等のトラブルがあると軟部組織が厚くなり、押されて内側に巻く。
- ◆爪甲が辺縁部で湾曲して、爪床の皮膚を掴む様に巻く状態。
- ◆爪囲炎症は少ない。
- ◆原因の多くは靴に多い。きつい靴の両サイドからの加圧。先端のゆるい運動靴。
- ◆浮き指。趾のアーチ（横・縦）を崩している方。寝たきり。病気の後遺症。
- ◆重度の爪は円筒状の爪（重度 60～80 度）。100 度になるとトランペット爪になる。
- ◆爪甲が遠位方向になると湾曲が強くなる。
- ◆スポーツや仕事等による組織損傷。

- ・爪甲は横、下からの圧力で覆われている。末節骨が靴、深爪、何かしらの原因で軟部組織が強く押され爪が内側に巻いたり、軟部組織に爪が食い込む巻き爪、陥入爪になる。
- ・母趾指の骨（末節骨）は母趾の先端まで無く、指の途中までしかありません。
地面から受ける力を爪甲だけで支えているので末節骨に異常があると病変爪になる。
- ・末節骨にトラブルがあると、爪甲は伸びません。→整形外科

＜巻き方…くい込み方の種類＞

- ・半月形 …… ゆるやかなカーブが皮膚にくいこむ
- ・ホチキス形 …… カーブがホチキスの形でくいこむ
- ・ステーブル形 …… 爪甲が爪床をつかむように湾曲する
- ・ストローネイル形 …… 爪母から丸まって伸びてくる（湾曲 100 度）
- ・パイロット形 …… 爪甲の途中から巻き始める。重度は爪先（湾曲 100 度）
- ・渦巻き形 …… 爪を長くすると共に変形湾曲

☆補正について

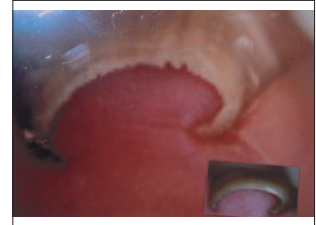
ナオルン人工爪は痛い原因の爪を切り取り、その部分に人工爪を作り自爪と完璧に一体化・合体し、伸びてくる爪を巻かない様完璧に誘導します。

★陥入爪

軟部組織に側縁部辺が爪に食い込む爪（刺し爪）

軽度…ホチキスの形で軟部組織くい込む爪

重度…爪床を刺す様に爪床をまきこむ側縁部が軟部組織に刺しにくい込みながら巻く爪



☆原因と特徴

- ・ 陥入爪は側爪溝（両サイドの爪）が棘（トゲ）の様に軟部組織肉（側爪郭）に刺さり、炎症や肉芽形成をおこす。
- ・ 軽度でも痛みあり。
- ・ 中度や重度になると、感染や、炎症、肉芽を形成する。
- ・ 軽度の爪は巻いていない。重度の爪は、下角質増殖で肥厚爪になる。
- ・ 刺し爪の状態、痛みが強い。深爪に爪甲を切ると短く切った爪に余計な力が入り爪周囲が爪の代わりをして盛り上がり爪甲が埋もれる。
- ・ 爪甲が陥入していないのに強い痛みがある場合は他の症状です。
- ・ 深爪の場合に多い。爪の切り方の間違い。（バイアスカットは皮膚の接合が無く爪が安定しなく余計に爪が陥入しやすくなる）
- ・ 爪囲炎や、肉芽形成になりやすい。
- ・ スポーツや仕事等による組織損傷。
- ・ 不用部分の爪を切り取った後、小骨が残っていると再発、小骨が残っていないか確認。・ 爪甲辺縁が爪床組織に食いこむ。

＜陥入爪に間違え易い症状＞

- ・ 爪甲下軟骨腫…爪が巻いていない。爪が陥入していない。激痛あり。
- ・ 爪下外骨腫……爪が伸びません。

☆補正について

外爪縁が側骨間靭帯の延長上で趾尖部乗り越えさせる様に、ナオルンで強力に誘導して乗り越える様に補正して下さい。

★一般的な肥厚爪（参照 各種症状とナオルン / 肥厚爪 P.33）

- ・ 深爪等により爪甲自体が厚くなり伸びず肥厚爪になる爪
- ・ 白癬菌がある場合や爪甲と爪床の間に角質が溜まり下角質増殖となる爪

★他の肥厚爪（参照 各種症状とナオルン / 肥厚爪 P.33）

- ・ 末節骨に原因の重度や他の原因の肥厚爪（治りません→整形外科へ）

★その他の爪症状

<使用不可>

- ・ 黄色症候群爪…内科担当。爪甲の伸びが防げられ爪甲が厚く黄色い爪。
- ・ 爪甲萎縮病爪（オニカルフィアアτροφイ）…爪が伸びなく爪が縮む。

<フルトロン+ PP ペストロ+ラバシンの使用>

- ・ 爪甲脱落症爪…爪が先端から剥離。色が黄色、白色になり爪が無くなる。乾癬 etc.
- ・ 爪カンジタ…真菌による爪の変形。
- ・ ラケット爪…短い爪甲で噛み癖、外傷、末節骨が短い事が原因。

<フルトロン+ PP ペストロの使用>

- ・ 爪下出血爪…爪の黒や茶色の縦スジ。爪母のダメージ爪。爪母からの出血。何十年も続く。
- ・ トランペット爪 2 回目の補正を通常より早目に行い、新しく伸びた柔らかい爪を補正する。
- ・ ステープル爪
- ・ その他、似た爪病変

<フルトロンのみ使用>

- ・ 爪甲中央縦裂爪
- ・ 爪の怪我

<PP ペストロのみ使用>

- ・ 自傷爪（洗濯板爪）（中央縦溝爪）…噛み爪、爪甲をむしる、爪母をいじる。
- ・ 薄爪
- ・ 横線爪…爪母の損傷。幼児からの急な成長の為。
- ・ 縦線爪…加齢による。
- ・ 匙状爪（スプーンネイル）…爪甲の中央部が凹んでいる。噛み爪、幼少期からの楽器使用、重い物を持つ仕事。
- ・ 糖尿病爪
- ・ 二枚爪…乾燥による爪の先端の剥離。剥離の部分に PP ペストロ使用。
- ・ 卵殻爪
- ・ 深爪

<治療後使用可能>

- ・ 末節骨による変形爪…整形外科担当。
- ・ 爪メラノーマ…黒い縦のスジが増えていく。内科担当。
- ・ 翼状爪膜（症状を判断）
- ・ 爪周囲炎…細菌及びガンジタ、外傷
- ・ 扁平たいせん

- ・ 尋常性乾癬…肥厚か変形
- ・ 爪甲横溝
- ・ 爪真菌…要注意：剥離、肥厚

＜見た目だけ補正＞

- ・ 時計皿爪（ピポクラス爪）…末節骨が大きい。指先を包む様に丸い爪。スプーンを逆にした様な変形爪。爪母から爪の中央部に掛けて盛り上がり、指に向けて下をむく硬い爪。後爪郭と爪甲との角度 160 度から 180 度。
- ・ ばち爪…時計皿爪が悪化した爪。巨大化角質 180 度以上の爪。

＜その他＞

- ・ 緑色爪（グリーンネイル）…爪の上のネイルアート等の飾りが剥がれているのを放置し、飾りと爪甲の間に緑菌が二次的に感染して爪甲が緑色になる。乾燥と 96% 以上のエタノールで処置（1 日 3 ～ 4 回以上）。
- ・ 爪甲白斑爪…爪甲が白く見える。点状、線状、全体。爪甲の角質化の成長異常。
- ・ 遺伝

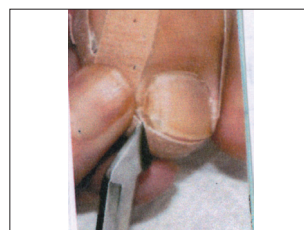
■テーピング

後爪郭（爪の周り、指先先端）の皮膚の盛り上がった爪、埋まった爪の際には、テーピングをすると不用部分の爪が切り易くなります。

重度の場合、測爪溝部（爪の両サイドの肉）と指先の先端の肉が盛り上がり、爪が埋まってしまい、自分の手の親指で盛り上がりを押しても見え辛く又切り辛い時があります。爪と肉が離れる様に、テーピングをすると人工爪が作りやすくなります。

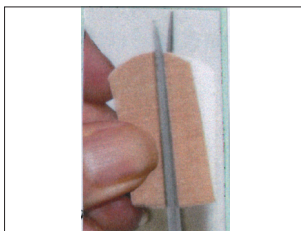
☆テープ A 【幅 2.5cmの 3 本の長めの弾性テープを用意】

- 1 一本でサイドの盛り上がりの肉を押し下げ、足底側に引っ張り固定。
- 2 もう一本もサイドの肉を離す様に引っ張り固定。
- 3 指先部分の盛り上がりの肉を 3 本目のテープをできるだけ指の爪の下になる様に皮膚を下げ、足底側に引っ張り止める。



☆テープ B 【2.5cm幅の弾性テープを 6cmの長さに切って 1 本のみ用意】

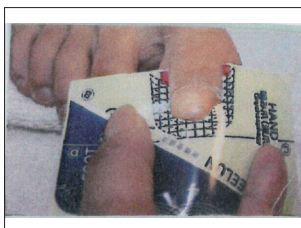
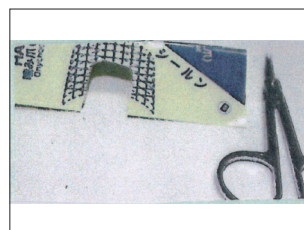
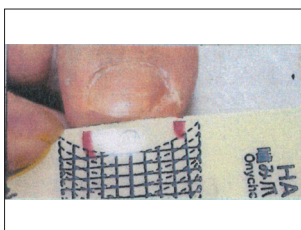
- 1 テープを 2 つに折る。
- 2 テープの中央から縦方向に 1cmハサミで切り込みを入れる。
- 3 その切り込みから指の爪を出して爪先の両サイドの下にかませる。
- 4 指先部分は下に下がる様に、両サイド爪ギリギリに肉と爪を離れさせ指の腹の方向に引っ張りながらまきつける。



☆シールンを使うテーピング 【シールンの手爪用を使う】

シールンを使って爪の周りの盛り上がった皮膚を下げる方法…。

- 1 シールンを横に強く折る。
- 2 爪の幅に合わせて普通のハサミで縦に切る。
- 3 指先のラインに合わせてナオルンシザーで円形に切る。
- 4 趾爪に合わせて下向に引っ張り、足底側に押し貼る。



コストと自費用

■ ナオルンセット



178,000 円

■ 平均的なコスト（単価）と自費用の目安

単 価	自費用 ※全て平均的な金額です
巻き爪 陥入爪	
（軽度）1趾 一箇所 115円～	10,000円～ 2回目からの補正2000円～。再診1回で終了の場合あり
二箇所 140円～	15,000円～
（中度）1趾 一箇所 140円～	15,000円～
二箇所 160円～	18,000円～
（重度）1趾 一箇所 200円～	20,000円～ 左記料金×再診植え足し平均4回
二箇所 250円～	25,000円～
他 + 肉芽処置費用 + 神経ブロック費用	
肉芽形成処置 300円～	25,000円～（神経ブロック込み）
硬い包帯代りの処置 200円～	3,000円～
剥がれ爪	
再診の自爪の植え足し 50円～	3,000円～

ナオルンは2回目からの消耗品のご注文を2～3日でお届け致します。

ご注文の際は、次頁のオーダーシートをコピーしてご使用下さい。

（代引き or 振り込み。ご注文の際は、1万円以上でお願い致します。）

また、SHOP ホームページ、メール、お電話でもご注文を承ります。

SHOP ホームページ：<http://shop.naorun.co.jp/>

メール：shop@naorun.co.jp

商品の詳細、オプション商品については、SHOP ホームページをご参照下さい。

オーダーシート

FAX 03-6750-2307

年 月 日

品 名	単 価	個 数	金 額	備 考
ナオルンセット	178,000円		円	
ペンカルン	38,000円		円	
カルンステック	3,800円		円	100本/セット
フルトロソ	5,800円		円	2g
透明フルトロソ	7,000円		円	2g
PPペストロ	6,000円		円	5g
透明PPペストロ	6,000円		円	2.5g
ラバシソ	6,000円		円	
ソフトラバー	6,000円		円	
先端チューブ	6,800円		円	100個/セット
ナオルンエタノール	1,200円		円	
シールソ	6,500円		円	50枚/セット
トゥーガード	2,500円		円	
フィンガーサック	3,500円		円	テフロン製
ナオルンシザー	5,000円		円	
ニッパー	6,000円		円	自爪切り用
アクリルニッパー	5,500円		円	人工爪切り用
重度切除用医療ハサミ	12,000円		円	医師使用のみ
粗目ヤスリ	1,500円		円	
細目ヤスリ	1,500円		円	
光沢ヤスリ	3,000円		円	
オレンジステック	1,500円		円	
ナオルン専用ライト	78,000円		円	
防護メガネ(ライト用)	4,500円		円	看護師用
ナオルンマシーン	6,000円		円	
マシーン用ビット	3,000円～10,000円 20種類			お問合せ資料請求
パワーアップマシーン	50,000円～			お問合せ資料請求
合計金額	円+消費税+送料850円			

その他必要な品がありましたらお知らせ下さい。ご希望の品を揃えております。

御 病 院 名			
御 住 所			
電 話		FAX	
御担当先生 発注担当者様名	科		

[illegible]

[illegible]

NAORUN

株式会社 ナオルン

本社 東京世田谷区上祖師谷5-14-15

代表 Tel 03-6750-2030

E-mail : info@naorun.co.jp

ホームページ : <http://naorun.co.jp/>

技術面のご質問は代表番号へご連絡下さい。

ご質問・消耗品のご注文は…Tel 03-6750-2306

Fax 03-6750-2307

E-mail : shop@naorun.co.jp

SHOPホームページ : <http://shop.naorun.co.jp/>